

資料3

【件】

スポーツ施策一覧

取組課題	施策の方向	具体的施策（施策の基本目標）	平成30年度末 施策数 （ ）内は再掲	内、平成30年 度 新規施策数 （ ）内は再掲	めざす方向（評価）			令和元年度の取組方針（ ）内は再掲				
					今後、拡 充・拡大	現状にて 推進	完了・廃 止・縮小	完了	継続	拡充 拡大	廃止	
1. 健康増進・健康寿命 の延伸をめざす生涯 スポーツの推進	(1) スポーツに気軽に親し める環境づくり	①市民のスポーツ活動の促進	34 (0)	2 (0)	0	34	0	0 (0)	34 (0)	0 (0)	0 (0)	
		②勤労世代や子育て世代の身近なところでのスポーツ実践への支援	7 (0)	0 (0)	2	5	0	0 (0)	5 (0)	2 (0)	0 (0)	
		③若年層の自由な身体活動の促進	9 (6)	0 (0)	1	8	0	0 (0)	8 (6)	1 (0)	0 (0)	
		④スポーツに関する情報発信	6 (3)	0 (0)	0	6	0	0 (0)	6 (3)	0 (0)	0 (0)	
	(2) スポーツを通じた健康 づくり	①スポーツを通じた成人の健康増進の推進	37 (20)	3 (2)	1	36	0	0 (0)	36 (20)	1 (0)	0 (0)	
		②スポーツを通じた介護予防活動の推進	12 (12)	2 (2)	0	12	0	0 (0)	12 (12)	0 (0)	0 (0)	
		③地域でのスポーツ・レクリエーション活動の充実	2 (1)	1 (0)	0	2	0	0 (0)	2 (1)	0 (0)	0 (0)	
2. 子どものスポーツ 活動の充実	(3) 子どもがスポーツを楽 しむための条件整備	①家族等で楽しむスポーツ活動の充実	15 (11)	2 (1)	0	15	0	0 (0)	15 (11)	0 (0)	0 (0)	
		②子どもを対象としたスポーツ活動の充実	15 (10)	0 (0)	2	13	0	0 (0)	13 (8)	2 (2)	0 (0)	
		③幼稚園・保育所（園）、認定こども園、小・中学校等における体力向上の取組の推進	2 (0)	0 (0)	0	2	0	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	
		④野外活動センターにおける青少年の健全育成	4 (2)	0 (0)	0	4	0	0 (0)	4 (2)	0 (0)	0 (0)	
		⑤学校部活動の充実	2 (2)	0 (0)	1	1	0	0 (0)	1 (1)	1 (1)	0 (0)	
3. 多様なニーズに対応 したスポーツ環境の 充実	(4) 地域スポーツの充実	地域住民が主体的に参加・参画するスポーツイベントの機会を充実し、地域の自発的な活動の促進や地域の一体感や活力の醸成を促す	6 (1)	1 (0)	0	6	0	0 (0)	6 (1)	0 (0)	0 (0)	
	(5) 障害者スポーツの促進	①障害者スポーツ活動への支援の充実	6 (0)	0 (0)	0	6	0	0 (0)	6 (0)	0 (0)	0 (0)	
		②障害者のスポーツ・レクリエーション活動の充実	11 (9)	1 (0)	0	11	0	0 (0)	11 (9)	0 (0)	0 (0)	
	(6) スポーツ資源の充実と 活用	①スポーツ施設の整備・充実	6 (5)	0 (0)	0	6	0	0 (0)	6 (5)	0 (0)	0 (0)	
		②効率的なスポーツ施設の運営と利便性の向上	14 (5)	0 (0)	0	14	0	0 (0)	14 (5)	0 (0)	0 (0)	
		③学校体育施設の開放	2 (0)	0 (0)	0	2	0	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	
		④公園緑地の利活用の促進	1 (1)	0 (0)	0	1	0	0 (0)	1 (1)	0 (0)	0 (0)	
	4. スポーツ関係団体や 企業と行政が協働し たスポーツ推進体制 の強化	(7) 各種競技スポーツの レベルアップ	①ジュニア期からの育成支援	12 (10)	0 (0)	0	12	0	0 (0)	12 (10)	0 (0)	0 (0)
②指導者の確保・育成及び活動支援			3 (2)	0 (0)	1	2	0	0 (0)	2 (1)	1 (1)	0 (0)	
③スポーツボランティアの育成と活用			1 (1)	0 (0)	1	0	0	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (0)	
④総合型地域スポーツクラブへの支援			3 (3)	0 (0)	1	2	0	0 (0)	2 (2)	1 (1)	0 (0)	
(8) プロスポーツとの交流 促進		トップレベルの選手のプレーを間近に見たり、選手との交流を促進したりする機会の提供	9 (5)	0 (0)	0	9	0	0 (0)	9 (5)	0 (0)	0 (0)	
計			219 (109)	12 (5)	10	209	0	0 (0)	209 (103)	10 (6)	0 (0)	
※差引、施策実数= 110 施策 ※差引、新規追加実数= (7) 施策								合計施策数 219 (合計再掲) (109)				

分類	めざす方向 集計			
	今後、拡 充・拡大	現状にて 推進	完了・廃止・ 縮小	小計
取組課題1	4	103	0	107
取組課題2	3	35	0	38
取組課題3	0	46	0	46
取組課題4	3	25	0	28

(合計施策数)
219

取組課題 1. 健康増進・健康寿命の延伸をめざす生涯スポーツの推進

施策の方向（1）スポーツに気軽に親しめる環境づくり

具体的施策（施策の基本目標）. ①市民のスポーツ活動の促進

- 関係団体と連携したスポーツイベントやスポーツ教室の開催
- 競技大会代表選手との交流

平成30年度のめざす方向
を受けての令和元年度取組方針
(完了、継続、拡充・拡大に向け
た見直し、廃止)
↓

担当課	事業番号	施策名	目的	取組内容 (連携団体等)	対象者	開催場所	平成29年度取組実績		平成30年度取組実績				令和元年度 の取組方針
							実施回数	参加者数 (延べ数)	実施回数	参加者数 (延べ数)	評価	めざす 方向	
保健センター	1	健康講座	生活習慣病予防および健康増進を図るため、生活習慣病の行動改善への動機づけを目的に、各種運動教室を実施する。	お手軽ストレッチ しっかりストレッチ 40歳からのロコモ体操 女性のためのぶよぶよ引き締め教室 体力測定会	市民	保健センター等	36回	862人	44回	902人	より多くの市民が参加しやすいように、ストレッチ教室を2教室に増やし、より多くの市民が参加できるようにした。	→	継続
長寿社会総務課	2	ラジオ体操	高齢者の健康と福祉増進を図るため	1 階ロビーにおいて、ひらかた体操・ラジオ体操。	市民	枚方市総合福祉センター	304回	4,852人	303回	4,952人	市民に広く知られたラジオ体操と枚方元気くらわんが体操を恒常的に行う事で、来館者の健康と福祉増進を図ることができた。	→	継続
長寿社会総務課	3	「市民講座」 ハワイアンフラ	高齢者の健康と福祉増進を図るため	講師指導の下、ハワイアンフラ	市民	枚方市総合福祉センター	10回	232人	10回	172人	講師の指導により、ハワイアンフラの技能の習得、参加者相互の交流を通じて、心身の健康増進を図ることができた。	→	継続
長寿社会総務課	4	「市民講座」 太極拳	高齢者の健康と福祉増進を図るため	講師指導の下、太極拳を行う	60歳以上	枚方市総合福祉センター	—	—	10回	219人	講師の指導により、太極拳の技能の習得、参加者相互の交流を通じて、心身の健康増進を図ることができた。	→	継続
長寿社会総務課	5	「趣味の講座」 やさしいヨガ体操	高齢者の健康と福祉増進を図るため	講師指導の下、ヨガ体操	60歳以上	枚方市総合福祉センター、老人作業所	10回	254人	18回	364人	講師の指導により、ヨガ体操の体験及び技能を習得するとともに、参加者相互の交流を通じて、心身の健康増進を図ることができた。	→	継続
長寿社会総務課	6	「趣味の講座」 すっきりストレッチ& 健康講座	高齢者の健康と福祉増進を図るため	講師指導の下、ストレッチ体操等	60歳以上	枚方市総合福祉センター、老人作業所	18回	358人	18回	370人	インストラクターの指導により、ストレッチ及び軽運動を通じて、参加者は楽しく健康増進を図ることができた。	→	継続
長寿社会総務課	7	介護・福祉・健康講座	高齢者の健康と福祉増進を図るため	①からだほぐし体操、歌体操等の健康体操。（高齢者サポートセンター） ②体力測定とラジオ体操（高齢者サポートセンター）	60歳以上	枚方市総合福祉センター	①1回 ②1回	①26人 ②41人	①1回 ②1回 ③認知症サポーター養成研修1回	①26人 ②55人 ③37人	利用者アンケートで開催希望の多かった健康体操や体力測定をテーマとして、専門職員の協力を得て実施した。健康への理解・身体の高齢予防について学ぶことができ、受講者の関心の深さを把握することができた。	→	継続
福祉総務課	8	ヨガ教室	初心者を対象に、ヨガを通して健康促進への意識を高めてもらうため。	NPO法人 日本YOGA連盟	18歳以上の市民	ラポールひらかた和室	8回	151人	8回	170人	継続で参加希望される方が多い	→	継続
福祉総務課	9	太極拳教室	初心者を対象に、太極拳を通して健康促進への意識を高めてもらうため。	大阪武術太極拳連盟	18歳以上の市民	ラポールひらかた大研修室	8回	138人	8回	119人	継続で参加希望される方が多い	→	継続
福祉総務課	10	水泳教室 小学生	水泳の苦手な小学生を対象に、水泳に親しんでもらいながら、技術の向上を図るため。	ラポールひらかた温水プール 管理運営委託業者	小学生	ラポールひらかた温水プール	6回	84人	6回	79人	継続で参加希望される方が多い	→	継続
福祉総務課	11	水泳教室 一般	体力の向上、健康増進のため。	ラポールひらかた温水プール 管理運営委託業者	15歳以上	ラポールひらかた温水プール	44回	993人	54回	1,058人	継続で参加希望される方が多い	→	継続
福祉総務課	12	水泳教室 中・高齢者	体力の向上、健康増進のため。	ラポールひらかた温水プール 管理運営委託業者	45歳以上	ラポールひらかた温水プール	43回	1,129人	45回	969人	継続で参加希望される方が多い	→	継続
福祉総務課	13	水泳教室 高齢者	体力の向上、健康増進のため。	ラポールひらかた温水プール 管理運営委託業者	65歳以上	ラポールひらかた温水プール	7回	71人	18回	226人	継続で参加希望される方が多い	→	継続

担当課	事業番号	施策名	目的	取組内容 （連携団体等）	対象者	開催場所	平成29年度取組実績		平成30年度取組実績				令和元年度 の取組方針
							実施回数	参加者数 （延べ数）	実施回数	参加者数 （延べ数）	評価	めざす 方向	
福祉総務課	14	いきいき講座 歌体操教室	高齢者の健康増進や介護予防への意識を高め てもらうため。	ボランティアグループ「いき いき歌体操HANDひらかた」	60歳以上の 市民	ラポールひ らかた大研 修室	3回	101人	2回	49人	継続で参加希望される方が多い	→	継続
福祉総務課	15	健康体操講座	高齢者の健康増進や介護予防への意識を高め てもらうため。	健康運動指導士	60歳以上	ラポールひ らかた大研 修室	—	—	4回	118人	継続で参加希望される方が多い	→	継続
障害福祉室	16	障害者スポーツ講習会	障害児・障害者のスポーツ振興とスポーツを 通じた交流を目的に障害者スポーツの普及を 図ります。	卓球、フライングディスク、 ボッチャ等を実施 （枚方障害者スポーツ連絡 会）	障害児・障 害者 と家族	市総合体育 館 伊加賀、 渚、サブリ 村野体育館 等	150回	2,190人	139回	2,104人	現状のまま継続し推進していく	→	継続
スポーツ振興課	17	市民スポーツカーニバル	市民の体力向上及び健康増進を図り、生涯ス ポーツの普及・振興及び市民相互の交流と親 睦を促進するため。	体力測定、ニュースポーツ体 験コーナー等 （枚方体育協会、枚方市ス ポーツ推進委員協議会等）	市民	総合スポー ツセン ター、渚市 民体育館、 伊加賀ス ポーツセン ター	1回	1,727人	1回	2,685人	平成30年度は例年実施している総合 スポーツセンターでの体力測定の 他、屋外でニュースポーツ体験、屋 内でカーリンコン、アウェース ロー、AED体験を行い、バドミント ン、卓球個人開放を実施した。ま た、渚体育館及び伊加賀スポーツセ ンターで体験コーナーや個人開放を 行い、野外活動センターでは市民 キャンプフェスティバルを実施し た。	→	継続
スポーツ振興課	18	ひらかたラグビーカーニバル	市民スポーツの振興を図り、健康維持・体力 増進を図るため。	スポーツ教室、交流試合等 （枚方体育協会）	市民	陸上競技場	1回	537人	1回	534人	トップリーガー等による講習会をは じめ、中学対抗戦、高校招待試合、7 人制大会など「ラグビーのまち・ひ らかた」を象徴するイベントとして 好評。	→	継続
スポーツ振興課	19	トップアスリートとのふれあ い事業	トップアスリートとふれあうことにより、青 少年の健全な育成、子どもたちのスポーツに 対する関心を高め、夢を育む機会をつくる。	スポーツ教室、講演会等 （枚方体育協会）	市民	総合スポー ツセンタ ー等	2回	1,073人	2回	483名	①レスリング 「吉田沙保里さんトークショー」 ②ノーマライゼーション陸上競技 チャレンジ 講師：朝原宣治氏・荒川大輔氏・大 岩雄飛氏・佐藤圭太氏・多川知希 氏・池田樹生氏・階戸健太氏	→	継続
スポーツ振興課	20	総合体育大会等の運営及び選 手派遣	市民が様々なスポーツ活動に取り組むことを 促すため。	大会の開催 （枚方体育協会）	市民	総合スポー ツセンタ ー伊加賀ス ポーツセン ター、渚市 民体育館等	5回	21,545人	通年	18,252名	28競技種目の大会を実施。市民ス ポーツ（競技スポーツ）の推進に貢 献している。	→	継続
スポーツ振興課	21	北河内地区駅伝競走大会	市民が様々なスポーツ活動に取り組むことを 促すため。	大会の開催 （枚方体育協会）	市民	淀川河川公 園枚方地区	1回	84人	1回	84人	北河内地区総合体育大会の一環とし て開催。一般・中学男女において毎 年好成績を収めている。	→	継続
スポーツ振興課	22	大阪府市町村対抗駅伝競走大 会	市民が様々なスポーツ活動に取り組むことを 促すため。	大会の開催 （枚方体育協会）	市民	服部緑地公 園陸上競技 場	1回	52人	1回	52人	大阪府総合体育大会の一環として開 催。代表選手は一般市民ランナーお よび中学陸上部の目標となっている。 。	→	継続
スポーツ振興課	23	枚方市長杯争奪軟式野球大会	市民が様々なスポーツ活動に取り組むことを 促すため。	大会の開催 （枚方体育協会）	市民	市内グラウ ンド	1回	1,848人	1回	1,883人	軟式野球の年間3大会の一つ。一般・ 学童と多くのチームが参加してい る。	→	継続
スポーツ振興課	24	三島・北河内地区対抗柔道大 会	市民が様々なスポーツ活動に取り組むことを 促すため。	大会の開催 （枚方体育協会）	市民	吹田市立武 道館	1回	17人	1回	20人	三島地区と北河内地区の柔道団体の 対抗戦。隔年で地域を変えて実施し ている。	→	継続
スポーツ振興課	25	枚方市駅伝競走大会	市民が様々なスポーツ活動に取り組むことを 促すため。	大会の開催 （枚方体育協会）	市民	淀川河川公 園枚方地区	1回	441人	1回	396人	一般（高校以上）・中学の部により 行われる大会。北河内駅伝の代表選 手選考会も兼ねている。	→	継続

担当課	事業番号	施策名	目的	取組内容 （連携団体等）	対象者	開催場所	平成29年度取組実績		平成30年度取組実績				令和元年度 の取組方針
							実施回数	参加者数 （延べ数）	実施回数	参加者数 （延べ数）	評価	めざす 方向	
スポーツ振興課	26	新春走ろうかい ひらかた ハーフマラソン	「気軽に走ろうかい」を合言葉に、様々な種別を用意し、気軽に参加できるマラソン大会を開催することで、市民の健康増進やスポーツの推進、生涯の生きがいづくり等に貢献することを目指しています	大会の開催 （枚方体育協会）	市民	淀川河川公園枚方地区	1回	4,397人	1回	4,057人	枚方体育協会の主要事業の一つ。毎年約5,000人の市民ランナーが全国から集う。晴れ着で走る「二十歳の部」が名物。	→	継続
スポーツ振興課	27	ひらかた市民オリンピック	2020東京オリンピック・パラリンピックの啓発、継続的な市民参加型競技性スポーツイベントの創出	スポーツイベントの開催 （枚方体育協会）	市民	枚方市立総合体育館	1回	203人	1回	232人	2020東京オリンピック・パラリンピックの啓発事業として開催。小学生チーム対抗の運動会形式が人気。	→	継続
スポーツ振興課	28	友好都市交流事業	スポーツ交流事業を通じてスポーツの普及、振興を図る	友好都市のスポーツ組織 （枚方体育協会）	協会及び加盟団体	枚方市及び友好都市	2回	27人	0回	0人	四万十市スポーツ交流が台風の影響で中止となった。	→	継続
スポーツ振興課	29	スポーツ教室 （体育協会主催）	子どもから高齢者まで、スポーツに関するあらゆる目的の人が、スポーツ・運動を楽しめる場を提供し、地域振興とスポーツの普及・振興及び、市民の健康増進等、社会全体の利益の増進に寄与することを目的とする。	クラブ活動・スポーツ大会や教室、講習会の実施 （枚方体育協会）	市民	市内スポーツ施設	①10回 ② 1回 ③ 2回 ④ 5回	①110人 ② 35人 ③ 60人 ④129人	①1回 ②2回 ③3回 ④1回	①34人 ②39人 ③58人 ④18人	①野草観察教室 ②日本拳法初心者教室 ③相撲教室 ④宇治川カヌーツーリング	→	継続
スポーツ振興課	30	朝活ストレッチ	ストレッチや軽い筋力トレーニング等、朝一番にリフレッシュできる運動を継続して実施し市民（高齢者）の健康増進を図り、介護予防と健康寿命の延伸を目的とする。	教室の実施 （枚方体育協会）	概ね65歳以上の方	スタジオAYA	全46回	743人	80	837	運動強度の違う2クラスに分けて実施したが、軽強度クラスで参加者が少なかった。	→	継続
スポーツ振興課	31	楽10体操 指導者講習会 指導者派遣事業	「一人でも、誰とでも。かんたんに10回で痛み改善」をコンセプトにした楽10体操を実施。体操によって血流アップを促し、からだの痛み（肩こりや腰痛等）改善・市民の健康増進を図る。体操の指導者を育成し、指導者が各地域で出向くことで広く体操を普及することを目指す。	楽10体操インストラクター養成講座の実施・指導者派遣事業の実施 （枚方体育協会）	概ね65歳以上の方	総合体育館、市内の集会所や生涯学習センター等	定期講習会：177回 指導者講習：4回 指導者派遣事業：52団体（回）	定期講習会：3,170人 指導者講習会：29人 指導者派遣事業：520人	定期講習会：181回 指導者講習：2回 指導者派遣事業：10団体（回）	定期講習会：3,807人 指導者講習会：33人 指導者派遣事業：500人	8月から定期講習会として、公済病院を追加することができた。この活動には、地域住民の他、病院でリハビリを終えた方の継続場所になるなど新たな価値を創出できた	→	継続
スポーツ振興課	32	パナソニック・パンサーズ ジュニア&親子バレーボール 体験教室	バレーボールの普及並びにトップアスリートとふれあうことにより、青少年の健全な育成、子どもたちのスポーツに対する関心を高め、夢を育む機会をつくる。	バレーボール教室の開催	市内親子	パナソニックアリーナ	1回	119人	1回	127人	平成30年度は枚方体育協会、ひらかたキングフィッシャースポーツクラブ主催により開催。本体験教室は、バレーボールの普及・市民スポーツ振興を目的に、パナソニックパンサーズの選手、スタッフの協力のもと開催した。	→	継続
スポーツ振興課	33	FCティアモによるサッカー教室	サッカーを通じた、市民のスポーツ振興と青少年の健全育成及び障害者のスポーツ体験のため	関西リーグの公式戦観戦やサッカー教室の開催。	幼児、小、中、高校生	陸上競技場	6回	統計無し	3回	統計無し	トップアスリートとのふれあい事業（サッカー）を地元サッカーチームのFCティアモ枚方より協力を得て実施した。なお、全6回のうち2回は雨天中止、1回は枚方PR大使・新井場さんのサッカー教室を実施。	→	継続
スポーツ振興課	34	幼児げんき（3B）体操教室	子どもから高齢者まで、スポーツに関するあらゆる目的の人が、スポーツ・運動を楽しめる場を提供し、地域振興とスポーツの普及・振興及び、市民の健康増進等、社会全体の利益の増進に寄与することを目的とする。	クラブ活動・スポーツ大会や教室、講習会の実施 （ひらかたキングフィッシャースポーツクラブ）	市民	渚市民体育館会議室	40回	254人	50回	290人	子育て期の親子によるリズム体操。親子のスキンシップと母親の運動不足解消やリフレッシュに人気。	→	継続

取組課題 1. 健康増進・健康寿命の延伸をめざす生涯スポーツの推進

施策の方向（１）スポーツに気軽に親しめる環境づくり

具体的施策（施策の基本目標）. ②勤労世代や子育て世代の身近なところでのスポーツ実践への支援

- 階段の昇り降りや自宅から駅までの徒歩での通勤、自宅で取り組める運動など、日常生活で手軽に行えるスポーツに関する情報提供の実施
- 夜間・休日のスポーツ教室の充実や公共スポーツ施設への保育機能の提供
- 妊娠・出産・子育て期へのスポーツ機会の提供

平成30年度のめざす方向
を受けての令和元年度取組方針
(完了、継続、拡充・拡大に向けた見直し、廃止)
↓

担当課	事業番号	施策名	目的	取組内容 (連携団体等)	対象者	開催場所	平成29年度取組実績		平成30年度取組実績				令和元年度 の取組方針
							実施回数	参加者数 (延べ数)	実施回数	参加者数 (延べ数)	評価	めざす 方向	
スポーツ振興課	35	スポーツ図書・ビデオの購入 及び貸出事業	スポーツ情報の提供	スポーツ図書・ビデオの購入 および貸し出し (枚方体育協会)	市民	渚市民体育 館、総合体 育館他	統計無し	渚市民体育館 ビデオ44本 貸出 総合体育館 ビデオ63本 貸出 陸上競技場 ビデオ17本 貸出 購入DVD4本 図書2冊	統計無し	渚市民体育館 ビデオ・図書 24本貸出 総合体育館 ビデオ・図書 30本貸出 陸上競技場 ビデオ・図書 20本貸出 購入DVD3本	通常、書店やレンタルショップには 置いていないスポーツ関連書物や指 導書・DVDなどを無料貸出。	→	継続
スポーツ振興課	36	広報媒体を通じた情報発信	スポーツの普及・啓発のため。	広報ひらかた、ホームペー ジ、学校園へのチラシ配布	市民	—	統計無し	統計無し	統計無し	統計無し	引き続き、広報ひらかた、ホーム ページ、学校園へのチラシ配布等 によりスポーツの普及・啓発のための 情報発信を行う。	→	継続
スポーツ振興課	37	ボディバランスチェック体験	体のゆがみを知り自身で積極的に健康づくり に取り組んでいただく	ボディバランスチェック機器 による測定と運動アドバイス (枚方体育協会)	市民	市内体育館	通年	100人	通年	72人	機器による測定結果をもとに有資格 の職員がエクササイズやストレッチ のアドバイスを行い好評。	→	継続
スポーツ振興課	38	体育館における保育室の提供 (プレイルーム、キッズルー ム等)	子どものいる人でもスポーツを楽しめる機会の 提供	メンバー内で保護者をつけて いただくと、保育室の使用を 許可 (枚方体育協会)	体育館使用 者	渚市民体育 館、総合体 育館	通年	統計無し	通年	統計無し	体育館使用者および保育対象事業の 保育スペースとして活用。小さい子 供を持った親から好評。	→	継続
スポーツ振興課	39	総合型地域スポーツクラブに よるスポーツ教室の開催	子どもから高齢者まで、スポーツに関するあ らゆる目的の人が、スポーツ・運動を楽しめ る場を提供し、地域振興とスポーツの普及・ 振興及び、市民の健康増進等、社会全体の利 益の増進に寄与することを目的とする。	クラブ活動・スポーツ大会や 教室、講習会の実施 (ひらかたキングフィッ シャーズスポーツクラブ)	市民他	市内スポー ツ施設	定期活動11 種目 スクール活 動10種目	HKSC 38,508人	定期活動11 種目 スクール活 動10種目	HKSC 37,436人	枚方市唯一の総合型クラブを枚方体 育協会が運営。会員数は約700名。 陸上競技やバレーボールのスクール チームは全国大会等でも活躍。市民 の健康面や生活面でよい効果が出て おり、今後も拡充拡大を目指してい く。	↗	拡充・拡大に向けた見直 し
スポーツ振興課	40	枚方体育協会加盟団体等によ るスポーツ教室の開催	子どもから高齢者まで、スポーツに関するあ らゆる目的の人が、スポーツ・運動を楽しめ る場を提供し、地域振興とスポーツの普及・ 振興及び、市民の健康増進等、社会全体の利 益の増進に寄与することを目的とする。	クラブ活動・スポーツ大会や 教室、講習会の実施 (枚方体育協会)	市民他	市内スポー ツ施設	加盟団体23 団体（ス ポーツ振興 特別事業の み)	加盟団体 2,995人	加盟団体23 団体（ス ポーツ振興 特別事業の み)	加盟団体 2,697人	枚方体育協会加盟の28団体中、23 団体が各種目の専門性を活かし、技 術力向上教室、指導者講習会、審判 講習会など種目毎のスポーツ推進を 展開。市民の健康増進等に寄与する ため、さらなるスポーツ人口増加の 取り組みを進めていく。	↗	拡充・拡大に向けた見直 し
スポーツ振興課	41	体育施設指定管理者による保 育サービスの実施	就学前の子供を持つ親にスポーツをする機会 の提供	保育サービス付きの教室を開 催 (枚方体育協会)	教室参加者	渚市民体育 館 総合体育館	①渚市民体 育館42日 ②総合体育 館180日	① 60人 ②460人	①渚市民体 育館71日 ②総合体育 館260日	①335人 ②236人	あらゆる世代を対象としたスポーツ 教室を開催。子育て期の母親を対象 とした保育付き教室が好評。	→	継続

取組課題 1. 健康増進・健康寿命の延伸をめざす生涯スポーツの推進

施策の方向（1）スポーツに気軽に親しめる環境づくり

具体的施策（施策の基本目標）. ③若年層の自由な身体活動の促進

- 若者の自由な身体活動を行える場の創出とその成果を発表できる機会の提供
- 若者のスポーツや身体活動を通じた地域活動への支援、活性化

平成30年度のめざす方向
を受けての令和元年度取組方針
(完了、継続、拡充・拡大に向け
た見直し、廃止)
↓

担当課	事業番号	施策名	目的	取組内容 (連携団体等)	対象者	開催場所	平成29年度取組実績		平成30年度取組実績				令和元年度 の取組方針
							実施回数	参加者数 (延べ数)	実施回数	参加者数 (延べ数)	評価	めざす 方向	
スポーツ振興課	42	総合体育大会等の運営及び選手派遣 ＜再掲＞	市民が様々なスポーツ活動に取り組むことを促すため。	大会の開催 (枚方体育協会)	市民	総合スポーツセンター伊加賀スポーツセンター、渚市民体育館等	5回	21,545人	通年	18,252名	28競技種目の大会を実施。市民スポーツ（競技スポーツ）の推進に貢献している。	→	継続
スポーツ振興課	43	北河内地区駅伝競走大会 ＜再掲＞	市民が様々なスポーツ活動に取り組むことを促すため。	大会の開催 (枚方体育協会)	市民	淀川河川公園枚方地区	1回	84人	1回	84人	北河内地区総合体育大会の一環として開催。一般・中学男女において毎年好成績を収めている。	→	継続
スポーツ振興課	44	大阪府市町村対抗駅伝競走大会 ＜再掲＞	市民が様々なスポーツ活動に取り組むことを促すため。	大会の開催 (枚方体育協会)	市民	服部緑地公園陸上競技場	1回	52人	1回	52人	大阪府総合体育大会の一環として開催。代表選手は一般市民ランナーおよび中学陸上部の目標となっている。	→	継続
スポーツ振興課	45	枚方市長杯争奪軟式野球大会 ＜再掲＞	市民が様々なスポーツ活動に取り組むことを促すため。	大会の開催 (枚方体育協会)	市民	市内グラウンド	1回	1,848人	1回	1,883人	軟式野球の年間3大会の一つ。一般・学童と多くのチームが参加している。	→	継続
スポーツ振興課	46	三島・北河内地区対抗柔道大会 ＜再掲＞	市民が様々なスポーツ活動に取り組むことを促すため。	大会の開催 (枚方体育協会)	市民	吹田市立武道館	1回	17人	1回	20人	三島地区と北河内地区の柔道団体の対抗戦。隔年で地域を変えて実施している。	→	継続
スポーツ振興課	47	枚方市駅伝競走大会 ＜再掲＞	市民が様々なスポーツ活動に取り組むことを促すため。	大会の開催 (枚方体育協会)	市民	淀川河川公園枚方地区	1回	441人	1回	396人	一般（高校以上）・中学の部により行われる大会。北河内駅伝の代表選手選考会も兼ねている。	→	継続
教育指導課	48	枚方市立中学校部活動指導協力者派遣事業	部活動の活性化と充実を図るとともに、顧問教員の時間的余裕を生み生徒指導や授業研究の時間を確保するため、各中学校に専門的な知識や技能を有する部活動指導協力者を派遣する。	部活動の活性化と充実のため、各中学校の実態やニーズに合わせて、効果的に部活動指導協力者の活用を図る。	市内中学生	市立中学校	派遣回数 5,873回	派遣者数 104人	派遣回数 5,333回	派遣者数 103人	各中学校で部活動指導協力者を効果的に活用した。派遣回数の減少は、部活動運営方針が考慮されたものと考えられる。	→	継続
スポーツ振興課	49	インストラクター・ボランティア基礎養成講座 フォローアップ研修	スポーツ指導やスポーツボランティアを行う上で知っておきたい基礎知識（コーチング論・ボランティア論・スポーツ栄養など）を提供し、新しい指導者の育成と既存指導者に対するスキルアップを目指す。	講習会の実施 (枚方体育協会)	市民	渚市民体育館	3回	101人	3回	105人	指導者およびボランティアの育成と発掘を目的とした講座。スポーツサポーターズバンクへの登録者が活動することで、多くの市民がスポーツの機会に触れることができている。	↗	拡充・拡大に向けた見直し
スポーツ振興課	50	スポーツ推進委員関係事務	市内45小学校区にスポーツ推進委員を委嘱し、社会体育の普及・振興を図り、地域社会の充実と発展を期すること。	スポーツ基本法に基づき委嘱されたスポーツ推進委員が地域住民のスポーツに関して指導助言を行い、生涯スポーツの普及振興を図っていく。	市民	市内各校区	通年	統計無し	通年	統計無し	研修には延べ43人、その他イベント等には延べ124人が参加した。引き続きスポーツ推進委員活動の活性化を図る。	→	継続

取組課題 1. 健康増進・健康寿命の延伸をめざす生涯スポーツの推進

施策の方向（１）スポーツに気軽に親しめる環境づくり

具体的施策（施策の基本目標）. ④スポーツに関する情報発信

- 市広報誌・ホームページ等を活用したスポーツ関連記事の定期的な情報発信
- スポーツ推進期間の設定
- 関係団体と連携した広報活動の推進
- スポーツに関する相談支援・情報提供体制の充実
- 健康づくりに役立てる公園緑地の利活用の促進・情報提供の充実

平成30年度のめざす方向
を受けての令和元年度取組方針
（完了、継続、拡充・拡大に向け
た見直し、廃止）
↓

担当課	事業番号	施策名	目的	取組内容 （連携団体等）	対象者	開催場所	平成29年度取組実績		平成30年度取組実績				令和元年度 の取組方針
							実施回数	参加者数 （延べ数）	実施回数	参加者数 （延べ数）	評価	めざす 方向	
スポーツ振興課	51	広報媒体を通じた情報発信 ＜再掲＞	スポーツの普及・啓発のため。	広報ひらかた、ホームペー ジ、学校園へのチラシ配布	市民	—	統計無し	統計無し	統計無し	統計無し	引き続き、広報ひらかた、ホーム ページ、学校園へのチラシ配布等 によりスポーツの普及・啓発のための 情報発信を行う。	→	継続
スポーツ振興課	52	市長表敬・市民スポーツ賞授 与	枚方市民や団体等が全国大会出場を決めた及 び全国大会で優秀な成績をおさめた場合に市 民スポーツ賞授与・市長表敬を行い、情報発 信することで市民のスポーツへの関心を高 め、さらなる技術向上に取り組むきっかけと する。	市民スポーツ賞授与・市長表 敬訪問の実施	市民	—	31回	統計無し	22回	統計無し	引き続き、市民スポーツ賞の授与、 市長表敬訪問の実施などに取り組 む。	→	継続
スポーツ振興課	53	市民スポーツカーニバル ＜再掲＞	市民の体力向上及び健康増進を図り、生涯ス ポーツの普及・振興及び市民相互の交流と親 睦を促進するため。	体力測定、ニュースポーツ体 験コーナー等 （枚方体育協会、枚方市ス ポーツ推進委員協議会等）	市民	総合スポー ツセン ター、渚市 民体育館、 伊加賀ス ポーツセン ター	1回	1,727人	1回	2,685人	平成30年度は列年実施している総合 スポーツセンターでの体力測定の 他、屋外でニュースポーツ体験、屋 内でカーリンコン、アウェース ロー、AED体験を行い、バドミント ン、卓球個人開放を実施した。ま た、渚体育館及び伊加賀スポーツセ ンターで体験コーナーや個人開放を 行い、野外活動センターでは市民 キャンプフェスティバルを実施し た。	→	継続
スポーツ振興課	54	ボディバランスチェック体験 ＜再掲＞	体のゆがみを知り自身で積極的に健康づくり に取り組んでいただく	ボディバランスチェック機器 による測定と運動アドバイス （枚方体育協会）	市民	市内体育館	通年	100人	通年	72人	機器による測定結果をもとに有資格 の職員がエクササイズやストレッチ のアドバイスを行い好評。	→	継続
スポーツ振興課	55	体育施設における相談窓口の 設置	市民が気軽にスポーツに親しむことができる 環境づくりのため。	各体育施設窓口において、相 談体制を充実させる。 （枚方体育協会）	市民	市内体育館	統計無し	統計無し	統計無し	統計無し	施設管理にとどまることなく、ス ポーツに関するあらゆる相談等に対 応（スポーツを始めたい。子どもに 習わせたいなど。）	→	継続
みち・みどり室	56	里山ウォーキング	おおさか環状自然歩道で里山ウォーキング を開催し、子どもを含めた多くの世代の市民 に身近に存在する里山のみどりを感じてもら うことで、東部地域の豊かな自然を守り、里 山保全の意識を向上することを目指す。	「津田国見山おおさか環状自 然歩道」を野外活動センター まで歩く。野外活動センター では、まきで作るカレーライ スと太陽観望を体験。 (津田里山保全倶楽部)	市民（小学 生以下は保 護者同伴）	津田国見山 おおさか環 状自然歩道 → 野外活 動センター	1回	50人	1回	44名	平成29年度より春休みに実施し、今 年度も予約段階から盛況であった。 しかし、今年度は雨天により延期と なったことから、参加者が多少減少 となった。	→	継続

取組課題 1. 健康増進・健康寿命の延伸をめざす生涯スポーツの推進

施策の方向（2）スポーツを通じた健康づくり

具体的施策（施策の基本目標）. ①スポーツを通じた成人の健康増進の推進

- 健康やスポーツに関する情報発信と市民意識の高揚
- ウォーキングなど手軽なスポーツを楽しみながら継続できるように、マップなどのツールやインセンティブの付与
- ウォーキングなど公園を活用した健康増進イベントの開催
- 健康づくり講座や運動・スポーツ教室への参加機会の充実
- 総合型地域スポーツクラブと連携した成人向けスポーツ活動の推進

平成30年度のめざす方向を受けての令和元年度取組方針（完了、継続、拡充・拡大に向けた見直し、廃止）

担当課	事業番号	施策名	目的	取組内容 （連携団体等）	対象者	開催場所	平成29年度取組実績		平成30年度取組実績				令和元年度 の取組方針
							実施回数	参加者数 （延べ数）	実施回数	参加者数 （延べ数）	評価	めざす 方向	
長寿社会総務課	57	「市民講座」 ハワイアンフラ ＜再掲＞	高齢者の健康と福祉増進を図るため	講師指導の下、ハワイアンフ ラ	市民	枚方市総合 福祉セン ター	10回	232人	10回	172人	講師の指導により、ハワイアンフラ の技能の習得、参加者相互の交流を 通じて、心身の健康増進を図ること ができた。	→	継続
長寿社会総務課	58	「市民講座」 太極拳 ＜再掲＞	高齢者の健康と福祉増進を図るため	講師指導の下、太極拳を行う	60歳以上	枚方市総合 福祉セン ター	—	—	10回	219人	講師の指導により、太極拳の技能の 習得、参加者相互の交流を通じて、 心身の健康増進を図ることができ た。	→	継続
長寿社会総務課	59	「趣味の講座」 やさしいヨガ体操 ＜再掲＞	高齢者の健康と福祉増進を図るため	講師指導の下、ヨガ体操	60歳以上	枚方市総合 福祉セン ター、老人 作業所	10回	254人	18回	364人	講師の指導により、ヨガ体操の体験 及び技能を習得するとともに、参加 者相互の交流を通じて、心身の健康 増進を図ることができた。	→	継続
長寿社会総務課	60	「趣味の講座」 すっきりストレッチ& 健康講座 ＜再掲＞	高齢者の健康と福祉増進を図るため	講師指導の下、ストレッチ体 操等	60歳以上	枚方市総合 福祉セン ター、老人 作業所	18回	358人	18回	370人	インストラクターの指導により、ス トレッチ及び軽運動を通じて、参加 者は楽しく健康増進を図ることがで きた。	→	継続
スポーツ振興課	61	広報媒体を通じた情報発信 ＜再掲＞	スポーツの普及・啓発のため。	広報ひらかた、ホームペー ジ、学校園へのチラシ配布	市民	—	統計無し	統計無し	統計無し	統計無し	引き続き、広報ひらかた、ホーム ページ、学校園へのチラシ配布等 によりスポーツの普及・啓発のための 情報発信を行う。	→	継続
保健センター	62	ひらかたカラダづくり トライアル （エンジョイトライ） 健康ウォーキングマップ 健康ウォーキングイベント	市民が身近な方法で健康づくりに取り組むこ とができるように、ウォーキングマップの作 成およびウォーキングイベントを実施するこ とで、市民の健康づくりの促進を図る。	モデルコースにあるポイント をまわりながら、全コースの 踏破を目指す。（京阪電気鉄 道株式会社、関西医科大学附 属病院、関西医科大学、枚方 体育協会）	市民および 市内在学・ 在勤者	京阪中之島 駅から出町 柳駅など	1回	ウォーキングイ ベント参加者 （253人） 達成者数 ・74km踏破賞 （67人） ・エンジョイト ライ賞（14人） ・ここからチャ レンジ賞（329 人）	1回	ウォーキングイ ベント参加者 （175人） 達成者数 ・74km踏破賞 （46人） ・エンジョイト ライ賞（9人） ・ここからチャ レンジ賞（251 人）	天候不良のためイベントの参加人数 が少なかった。達成者が減ってきて いるため、幅広く周知していく。	→	継続
文化財課	63	ふみんネット 北河内ブロック	北河内7市の歴史文化財を北河内市域の市民 に広く啓発・普及するため。	北河内7市の文化財を歩きな がら見て回る。	大阪府民	平成29年度 は、枚方市 での実施な し。 平成30年度 は藤阪駅～ 山田池公 園。	全3回中3 回とも他市 で実施（そ のうち1回 は、文化財 を見て歩 く）。	82人	全3回中2 回は他市で 実施（3回 とも、文化 財を見て歩 く）。	68人	枚方市を含めて3回とも文化財を巡 るウォーキングを実施し、好評で あった。	→	継続
スポーツ振興課	64	ライフ・チャレンジ・ザ・ ウォーク	子どもを含む親子や家族が楽しく参加できる ウォーキングイベントを実施することで、子 どもや親子のスポーツ活動促進を図る。	親子や家族で山田池公園を ウォーキングしながら、公園 内に設置されたポイントを探 し、ミニゲームに挑戦する。	市民	山田池公園	1回	大人120人・ 子ども130人 計250人	1回	大人128人・ 子ども131人 計259人	引き続き参加者の満足度も高く、参 加者の待ち時間を減らすなど改善で きた。	→	継続

担当課	事業番号	施策名	目的	取組内容 （連携団体等）	対象者	開催場所	平成29年度取組実績		平成30年度取組実績				令和元年度 の取組方針
							実施回数	参加者数 （延べ数）	実施回数	参加者数 （延べ数）	評価	めざす 方向	
保健センター	65	ひらかたカラダづくりトライアル 健康ウォーキングイベント	市民が身近な方法で健康づくりに取り組むことができるように、ウォーキングイベントを実施することで、市民の健康づくりの促進を図る。	健康ウォーキングマップの枚方八景新設コースの紹介として実施。より多くの市民に参加してもらえるよう2コースより選んで参加できるようにしている。 （連携団体：京阪電気鉄道株式会社、枚方体育協会、ひらかたウォーキング協会）	市民および 市内在学・ 在勤者	みんなでトライアルコース（岡東中央公園→香里ヶ丘中央公園→淀川河川公園の7.4km）と、お手軽チャレンジコース（岡東中央公園→香里ヶ丘中央公園の4.6km）の2コースを設定	1回	253人	1回	175人	香里ヶ丘再発見！歩いて探してピンゴ！、フォトラリーやSNSで枚方を自慢しよう！等歩きながら楽しめる企画をしたが、天候不良のため参加者が少なかった。	→	継続
保健センター	66	はつらつCity	市民が主体となった健康づくりの推進をはかるため、市民自身が多様な運動・体操などの活動を行うことを目的とする	健康リーダーが主体となり、誰もが取り組める運動として、ウォーキングイベントを実施。	市民	枚方市を出発もしくは終点としたコースを選定し開催	8回	456人	8回	503人	熱中症が危惧される9月の開催を中止し開催回数が減ったが、参加人数は年々増加している。1回の参加人数が増えているため、安全面に配慮して実施していく。	→	継続
保健センター	67	地区組織活動	市民が主体となった健康づくりの推進をはかるため、市民自身が多様な運動・体操などの活動を行うことを目的とする	健康リーダーが主体となり、中学校区に分かれて行う地区組織活動として、ウォーキングを実施	市民	枚方市を出発もしくは終点としたコースを選定し開催	—	—	3	57	身近な地域で体を動かすきっかけづくりとなった	→	継続
長寿社会総務課	68	グラウンドゴルフ	高齢者の健康と福祉増進を図るため	グラウンドゴルフの個人利用	60歳以上	枚方市総合福祉センター	249回	6,209人	249回	6,155人	福祉センターの自然豊かな環境の中でプレーを通じて交流の機会と健康的な生活を行う事ができた。	→	継続
長寿社会総務課	69	世代間交流	高齢者の健康と福祉増進、及び世代間の交流を図る	①高齢者からグラウンドゴルフの指導を受け、若年層と交流する。 ②スポーツ吹矢体験	市民 60歳以上	枚方市総合福祉センター	①1回 ②1回	①26人 ②25人	①1回 ②台風により中止	①25人	グラウンドゴルフのプレーを通じて、世代間を超えた交流の場とすることができた。	→	継続
地域包括ケア推進課	70	ひらかた元気くらわんか体操	地域における自主的な介護予防に資する活動の育成・支援を行う。	出前講座の実施、体力測定による評価、普及員講習会の実施、お試し講座、継続支援講座の開催、実践グループ交流会、スタート支援講座	市民、介護事業所	体育館、生涯学習市民センター等	63回	1,158人	84回	1,753人	現状のまま継続し推進していく	→	継続
福祉総務課	71	ヨガ教室 ＜再掲＞	初心者を対象に、ヨガを通して健康促進への意識を高めてもらうため。	NPO法人 日本YOGA連盟	18歳以上の市民	ラポールひらかた和室	8回	151人	8回	170人	継続で参加希望される方が多い	→	継続
福祉総務課	72	太極拳教室 ＜再掲＞	初心者を対象に、太極拳を通して健康促進への意識を高めてもらうため。	大阪武術太極拳連盟	18歳以上の市民	ラポールひらかた大研修室	8回	138人	8回	119人	継続で参加希望される方が多い	→	継続
福祉総務課	73	水泳教室 小学生 ＜再掲＞	水泳の苦手な小学生を対象に、水泳に親しんでもらいながら、技術の向上を図るため。	ラポールひらかた温水プール 管理運営委託業者	小学生	ラポールひらかた温水プール	6回	84人	6回	79人	継続で参加希望される方が多い	→	継続
福祉総務課	74	水泳教室 一般 ＜再掲＞	体力の向上、健康増進のため。	ラポールひらかた温水プール 管理運営委託業者	15歳以上	ラポールひらかた温水プール	44回	993人	54回	1,058人	継続で参加希望される方が多い	→	継続

担当課	事業番号	施策名	目的	取組内容 （連携団体等）	対象者	開催場所	平成29年度取組実績		平成30年度取組実績				令和元年度 の取組方針
							実施回数	参加者数 （延べ数）	実施回数	参加者数 （延べ数）	評価	めざす 方向	
福祉総務課	75	水泳教室 中・高齢者 ＜再掲＞	体力の向上、健康増進のため。	ラポールひらかた温水プール 管理運営委託業者	45歳以上	ラポールひ らかた 温水プール	43回	1,129人	45回	969人	継続で参加希望される方が多い	→	継続
福祉総務課	76	水泳教室 高齢者 ＜再掲＞	体力の向上、健康増進のため。	ラポールひらかた温水プール 管理運営委託業者	65歳以上	ラポールひ らかた 温水プール	7回	71人	18回	226人	継続で参加希望される方が多い	→	継続
福祉総務課	77	水泳教室 障害者（幼児）	社会性の向上や、社会的自立を目指すため。	ラポールひらかた温水プール 管理運営委託業者	幼児	ラポールひ らかた 温水プール	15回	151人	18回	352人	継続で参加希望される方が多い	→	継続
福祉総務課	78	水泳教室 障害者（小・中・高校生）	社会性の向上や、社会的自立を目指すため。	ラポールひらかた温水プール 管理運営委託業者	小・中・高 校生	ラポールひ らかた 温水プール	29回	379人	54回	788人	継続で参加希望される方が多い	→	継続
福祉総務課	79	水泳教室 障害者（中学生以上）	社会性の向上や、社会的自立を目指すため。	ラポールひらかた温水プール 管理運営委託業者	中学生以上	ラポールひ らかた 温水プール	25回	398人	76回	528人	継続で参加希望される方が多い	→	継続
福祉総務課	80	健康体操講座 ＜再掲＞	高齢者の健康増進や介護予防への意識を高めてもらうため。	健康運動指導士	60歳以上	ラポールひ らかた大研 修室	—	—	4回	118人	継続で参加希望される方が多い	→	継続
障害福祉室	81	障害者スポーツ講習会 ＜再掲＞	障害児・障害者のスポーツ振興とスポーツを通じた交流を目的に障害者スポーツの普及を図ります。	卓球、フライングディスク、 ボッチャ等を実施 （枚方障害者スポーツ連絡 会）	障害児・障 害者 と家族	市総合体育 館 伊加賀、 渚、サブリ 村野体育館 等	150回	2,190人	139回	2,104人	現状のまま継続し推進していく	→	継続
障害福祉室	82	ふれあいスポーツ交流会	知的障害者の社会参加や交流する機会として開催	障害者当事者による実行 委員会形式でスポーツイベン トを実施 （枚方市社会福祉協議会）	障害者	市総合体育 館	1回	362人	荒天のため 中止	—	現状のまま継続し推進していく	→	継続
みち・みどり室	83	里山ウォーキング ＜再掲＞	おおさか環状自然歩道で里山ウォーキングを開催し、子どもを含めた多くの世代の市民に身近に存在する里山のみどりを感じてもらうことで、東部地域の豊かな自然を守り、里山保全の意識を向上することを目指す。	「津田国見山おおさか環状自然歩道」を野外活動センターまで歩く。野外活動センターでは、まきで作るカレーライスと太陽観望を体験。 (津田里山保全倶楽部)	枚方市民 （小学生以下は保護者 同伴）	津田国見山 おおさか環 状自然歩道 → 野外活 動センター	1回	50人	1回	44名	平成29年度より春休みに実施し、今年度も予約段階から盛況であった。しかし、今年度は雨天により延期となったことから、参加者が多少減少となった。	→	継続
スポーツ振興課	84	スポーツ教室 （体育協会主催） ＜再掲＞	子どもから高齢者まで、スポーツに関するあらゆる目的の人が、スポーツ・運動を楽しめる場を提供し、地域振興とスポーツの普及・振興及び、市民の健康増進等、社会全体の利益の増進に寄与することを目的とする。	クラブ活動・スポーツ大会や 教室、講習会の実施 （枚方体育協会）	市民	市内スポー ツ施設	①10回 ② 1回 ③ 2回 ④ 5回	①110人 ② 35人 ③ 60人 ④129人	①1回 ②2回 ③3回 ④1回	①34人 ②39人 ③58人 ④18人	①野草観察教室 ②日本拳法初心者教室 ③相撲教室 ④宇治川カヌーツーリング	→	継続
スポーツ振興課	85	朝活ストレッチ ＜再掲＞	ストレッチや軽い筋力トレーニング等、朝一番にリフレッシュできる運動を継続して実施し市民(高齢者)の健康増進を図り、介護予防と健康寿命の延伸を目的とする。	教室の実施 （枚方体育協会）	概ね65歳以上の方	スタジオ AYA	全46回	743人	80	837	運動強度の違う2クラスに分けて実施したが、軽強度クラスで参加者が少なかった。	→	継続
スポーツ振興課	86	楽10体操 指導者講習会 指導者派遣事業 ＜再掲＞	「一人でも、誰とでも。かんたんに10回で痛み改善」をコンセプトにした楽10体操を実施。体操によって血流アップを促し、からだの痛み（肩こりや腰痛等）改善・市民の健康増進を図る。体操の指導者を育成し、指導者が各地域で出向くことで広く体操を普及することを目指す。	楽10体操インストラクター 養成講座の実施・指導者派遣 事業の実施 （枚方体育協会）	概ね65歳以上の方	総合体育 館、市内の 集会所や生 涯学習セン ター等	定期講習 会：177回 指導者講習：4回 指導者派遣 事業：52団 体（回）	定期講習会：3,170人 指導者講習会：29人 指導者派遣事業：520人	定期講習会：181回 指導者講習：2回 指導者派遣事業：10団体（回）	定期講習会：3,807人 指導者講習会：33人 指導者派遣事業：500人	8月から定期講習会として、公済病院を追加することができた。この活動には、地域住民の他、病院でリハビリを終えた方の継続場所になるなど新たな価値を創出できた	→	継続

担当課	事業番号	施策名	目的	取組内容 （連携団体等）	対象者	開催場所	平成29年度取組実績		平成30年度取組実績				令和元年度 の取組方針
							実施回数	参加者数 （延べ数）	実施回数	参加者数 （延べ数）	評価	めざす 方向	
スポーツ振興課	87	パナソニック・パンサーズ ジュニア&親子バレーボール 体験教室 ＜再掲＞	バレーボールの普及並びにトップアスリートとふれあうことにより、青少年の健全な育成、子どもたちのスポーツに対する関心を高め、夢を育む機会をつくる。	バレーボール教室の開催	市内親子	パナソニックアリーナ	1回	119人	1回	127人	平成30年度は枚方体育協会、ひらかたキングフィッシャースポーツクラブ主催により開催。本体験教室は、バレーボールの普及・市民スポーツ振興を目的に、パナソニックパンサーズの選手、スタッフの協力のもと開催した。	→	継続
スポーツ振興課	88	幼児げんき（3B）体操教室 ＜再掲＞	子どもから高齢者まで、スポーツに関するあらゆる目的の人が、スポーツ・運動を楽しめる場を提供し、地域振興とスポーツの普及・振興及び、市民の健康増進等、社会全体の利益の増進に寄与することを目的とする。	クラブ活動・スポーツ大会や教室、講習会の実施 （ひらかたキングフィッシャースポーツクラブ）	市民	渚市民体育館 会議室	40回	254人	50回	290人	子育て期の親子によるリズム体操。親子のスキンシップと母親の運動不足解消やリフレッシュに人気。	→	継続
スポーツ振興課	89	ボディバランスチェック体験 ＜再掲＞	体のゆがみを知り自身で積極的に健康づくりに取り組んでいただく	ボディバランスチェック機器による測定と運動アドバイス （枚方体育協会）	市民	市内体育館	通年	100人	通年	72人	機器による測定結果をもとに有資格の職員がエクササイズやストレッチのアドバイスをを行い好評。	→	継続
スポーツ振興課	90	淀川河川公園ふれあいマラソン	障がいのある方もない方も、子供からお年寄りまで幅広い世代の多様な方々が同じスポーツやレクリエーションイベントに参加、交流する機会を提供し、ノーマライゼーションの理念の普及啓発を測り、地域活力の向上に貢献することを目的とする	障がいの有無を問わず、幅広い世代の方が参加できる短い距離の「ふれあいマラソン」、フライングディスクやバドミントン大会、車いす体験コーナーなど、どなたでも楽しめるレクリエーション・プログラムや飲食ブースの出店で賑わいあるイベントとなる事を目指す （枚方体育協会）	府下全域の方	淀川河川公園 枚方地区	1回	859人	1回	1,915人	天気に恵まれ、マラソン及びレクリエーションプログラムとも増加した。	→	継続
スポーツ振興課	91	トリプルバドミントン交流会	バドミントンが初めての方も、うまくできる自信のない方も また、見学するだけの方も、どなたでも参加できる人と人とのむすぶ事を目的とする。	障害者・高齢者・健常者のトリプル・子ども・若者・シニアのトリプル・親子3世代のトリプル いろんな「トリプル」で楽しく交流する （枚方体育協会）	近隣	渚市民体育館	2回	214人	1回	135人	障がい者支援団体の活動をサポート。障がい者と健常者がスポーツを通じた交流の場を提供。	→	継続
スポーツ振興課	92	枚方市自然学校かわせみ自然塾	市民に生涯学習の場と機会を提供し、アウトドアの楽しさや面白さを伝え、穂谷地区に残された、枚方市の自然を見つめ直すことによって、自然の大切さを知ってもらうこと。	1. キャンプ事業 2. 環境教育・体験学習事業 3. ネイチャーボランティア養成事業（指導者育成事業）4. 健康スポーツ事業の4つの部門（テーマ）に分け、計画的かつ効率的に事業展開しています。 （枚方体育協会、ひらかたキングフィッシャースポーツクラブ）	市民	枚方市野外活動センターほか	64回	2,408人	53回	2,019人	枚方市の自然を生かしたプログラムを年間を通じて実施。天体関係の事業が天候不良等で5回中止になった。里山保全（全5回）の申込がなかったのでボランティア研修を実施。	→	継続
スポーツ振興課	93	各種スポーツ教室	子どもから高齢者まで、スポーツに関するあらゆる目的の人が、スポーツ・運動を楽しめる場を提供し、地域振興とスポーツの普及・振興及び、市民の健康増進等、社会全体の利益の増進に寄与することを目的とする。	クラブ活動・スポーツ教室の実施 （枚方体育協会）	市民他	市内スポーツ施設	121回	2,136人	130回	3,811人	あらゆる世代を対象としたスポーツ教室を開催。子育て期の母親を対象とした保育付き教室や働く女性のための夜間教室など、ライフスタイルに応じた教室を用意し好評。	↗	拡充・拡大に向けた見直し

取組課題 1. 健康増進・健康寿命の延伸をめざす生涯スポーツの推進

施策の方向（2）スポーツを通じた健康づくり

具体的施策（施策の基本目標）. ②スポーツを通じた介護予防活動の推進

- 介護予防講座等の実施
- 老人クラブとの連携による健康づくりの推進
- ひらかた元氣くらわんか体操等の普及

平成30年度のめざす方向
を受けての令和元年度取組方針
（完了、継続、拡充・拡大に向け
た見直し、廃止）
↓

担当課	事業番号	施策名	目的	取組内容 （連携団体等）	対象者	開催場所	平成29年度取組実績		平成30年度取組実績				令和元年度 の取組方針
							実施回数	参加者数 （延べ数）	実施回数	参加者数 （延べ数）	評価	めざす 方向	
長寿社会総務課	94	介護・福祉・健康講座 ＜再掲＞	高齢者の健康と福祉増進を図るため	①からだほぐし体操、歌体操等の健康体操。（高齢者サポートセンター） ②体力測定とラジオ体操（高齢者サポートセンター）	60歳以上	枚方市総合福祉センター	①1回 ②1回	①26人 ②41人	①1回 ②1回 ③認知症サポーター養成研修1回	①26人 ②55人 ③37人	利用者アンケートで開催希望の多かった健康体操や体力測定をテーマとして、専門職員の協力を得て実施した。健康への理解・身体の高齢化予防について学ぶことができ、受講者の関心の深さを把握することができた。	→	継続
福祉総務課	95	健康体操講座 ＜再掲＞	高齢者の健康増進や介護予防への意識を高めてもらうため。	健康運動指導士	60歳以上	ラポールひらかた大研修室	—	—	4回	118人	継続で参加希望される方が多い	→	継続
長寿社会総務課	96	ラジオ体操 ＜再掲＞	高齢者の健康と福祉増進を図るため	1 階ロビーにおいて、ひらかた体操・ラジオ体操。	市民	枚方市総合福祉センター	304回	4,852人	303回	4,952人	市民に広く知られたラジオ体操と枚方元氣くらわんか体操を恒常的に行う事で、来館者の健康と福祉増進を図ることができた。	→	継続
長寿社会総務課	97	「市民講座」 ハワイアンフラ ＜再掲＞	高齢者の健康と福祉増進を図るため	講師指導の下、ハワイアンフラ	市民	枚方市総合福祉センター	10回	232人	10回	172人	講師の指導により、ハワイアンフラの技能の習得、参加者相互の交流を通じて、心身の健康増進を図ることができた。	→	継続
長寿社会総務課	98	「市民講座」 太極拳 ＜再掲＞	高齢者の健康と福祉増進を図るため	講師指導の下、太極拳を行う	60歳以上	枚方市総合福祉センター	—	—	10回	219人	講師の指導により、太極拳の技能の習得、参加者相互の交流を通じて、心身の健康増進を図ることができた。	→	継続
長寿社会総務課	99	「趣味の講座」 やさしいヨガ体操 ＜再掲＞	高齢者の健康と福祉増進を図るため	講師指導の下、ヨガ体操	60歳以上	枚方市総合福祉センター、老人作業所	10回	254人	18回	364人	講師の指導により、ヨガ体操の体験及び技能を習得するとともに、参加者相互の交流を通じて、心身の健康増進を図ることができた。	→	継続
長寿社会総務課	100	「趣味の講座」 すっきりストレッチ& 健康講座 ＜再掲＞	高齢者の健康と福祉増進を図るため	講師指導の下、ストレッチ体操等	60歳以上	枚方市総合福祉センター、老人作業所	18回	358人	18回	370人	インストラクターの指導により、ストレッチ及び軽運動を通じて、参加者は楽しく健康増進を図ることができた。	→	継続
地域包括ケア推進課	101	ひらかた元氣くらわんか体操 ＜再掲＞	地域における自主的な介護予防に資する活動の育成・支援を行う。	出前講座の実施、体力測定による評価、普及員講習会の実施、お試し講座、継続支援講座の開催、実践グループ交流会、スタート支援講座	市民、介護事業所	体育館、生涯学習市民センター等	63回	1,158人	84回	1,753人	現状のまま継続し推進していく	→	継続
福祉総務課	102	ヨガ教室 ＜再掲＞	初心者を対象に、ヨガを通して健康促進への意識を高めてもらうため。	NPO法人 日本YOGA連盟	18歳以上の市民	ラポールひらかた和室	8回	151人	8回	170人	継続で参加希望される方が多い	→	継続
福祉総務課	103	太極拳教室 ＜再掲＞	初心者を対象に、太極拳を通して健康促進への意識を高めてもらうため。	大阪武術太極拳連盟	18歳以上の市民	ラポールひらかた大研修室	8回	138人	8回	119人	継続で参加希望される方が多い	→	継続

担当課	事業番号	施策名	目的	取組内容 （連携団体等）	対象者	開催場所	平成29年度取組実績		平成30年度取組実績				令和元年度 の取組方針
							実施回数	参加者数 （延べ数）	実施回数	参加者数 （延べ数）	評価	めざす 方向	
スポーツ振興課	104	朝活ストレッチ ＜再掲＞	ストレッチや軽い筋力トレーニング等、朝一番にリフレッシュできる運動を継続して実施し市民(高齢者)の健康増進を図り、介護予防と健康寿命の延伸を目的とする。	教室の実施 （枚方体育協会）	概ね65歳以上の方	スタジオ AYA	全46回	743人	80	837	運動強度の違う2クラスに分けて実施したが、軽強度クラスで参加者が少なかった。	→	継続
スポーツ振興課	105	楽10体操 指導者講習会 指導者派遣事業 ＜再掲＞	「一人でも、誰とでも。かんたんに10回で痛み改善」をコンセプトにした楽10体操を実施。体操によって血流アップを促し、からだの痛み（肩こりや腰痛等）改善・市民の健康増進を図る。体操の指導者を育成し、指導者が各地域で出向くことで広く体操を普及することを目指す。	楽10体操インストラクター 養成講座の実施・指導者派遣 事業の実施 （枚方体育協会）	概ね65歳以上の方	総合体育館、市内の集会所や生涯学習センター等	定期講習会：177回 指導者講習：4回 指導者派遣事業：52団体（回）	定期講習会：3,170人 指導者講習会：29人 指導者派遣事業：520人	定期講習会：181回 指導者講習：2回 指導者派遣事業：10団体（回）	定期講習会：3,807人 指導者講習会：33人 指導者派遣事業：500人	8月から定期講習会として、公済病院を追加することができた。この活動には、地域住民の他、病院でリハビリを終えた方の継続場所になるなど新たな価値を創出できた	→	継続

取組課題1. 健康増進・健康寿命の延伸をめざす生涯スポーツの推進

施策の方向（2）スポーツを通じた健康づくり

具体的施策（施策の基本目標）. ③地域でのスポーツ・レクリエーション活動の充実

- 高齢者レクリエーションのつどいの開催
- 健康運動を目的とした健康器具系公園施設の整備促進

平成30年度のめざす方向
を受けての令和元年度取組方針
（完了、継続、拡充・拡大に向け
た見直し、廃止）
↓

担当課	事業番号	施策名	目的	取組内容 （連携団体等）	対象者	開催場所	平成29年度取組実績		平成30年度取組実績				令和元年度 の取組方針
							実施回数	参加者数 （延べ数）	実施回数	参加者数 （延べ数）	評価	めざす 方向	
スポーツ振興課	106	スポーツ推進委員関係事務 ＜再掲＞	市内45小学校区にスポーツ推進委員を委嘱し、社会体育の普及・振興を図り、地域社会の充実と発展を期すること。	スポーツ基本法に基づき委嘱されたスポーツ推進委員が地域住民のスポーツに関して指導助言を行い、生涯スポーツの普及振興を図っていく。	市民	市内各校区	通年	統計無し	通年	統計無し	研修には延べ43人、その他イベント等には延べ124人が参加した。引き続きスポーツ推進委員活動の活性化を図る。	→	継続
みち・みどり室	107	健康器具系公園施設の整備促進	市民が健康器具系施設を使用することで、健康増進を図る。	健康器具系公園施設の整備	市民	市内公園	5基	統計無し	0基	統計無し	健康器具の整備に向けて進めたものの、今年度は地域からのニーズを受けてブランコ・鉄棒等公園遊具施設の整備を優先した。	→	継続

取組課題2. 子どものスポーツ活動の充実

施策の方向（3）子どもがスポーツを楽しむための条件整備

具体的施策（施策の基本目標）. ①家族等で楽しむスポーツ活動の充実

- 家族等でスポーツを楽しみ、体力づくりができるイベント等の充実
- 子どもたちの好奇心をひきつける外遊びやスポーツ体験の充実
- 子どもたちの冒険心をくすぐるチャレンジ性の高い複合型公園遊具の整備促進
- トップアスリートとの交流の機会づくり

平成30年度のめざす方向
を受けての令和元年度取組方針
(完了、継続、拡充・拡大に向け
た見直し、廃止)
↓

担当課	事業番号	施策名	目的	取組内容 (連携団体等)	対象者	開催場所	平成29年度取組実績		平成30年度取組実績				令和元年度 の取組方針
							実施回数	参加者数 (延べ数)	実施回数	参加者数 (延べ数)	評価	めざす 方向	
保健センター	108	はつらつCity ＜再掲＞	市民が主体となった健康づくりの推進をはかるため、市民自身が多様な運動・体操などの活動を行うことを目的とする	健康リーダーが主体となり、誰もが取り組める運動として、ウォーキングイベントを実施。	市民	枚方市を出発もしくは終点としたコースを選定し開催	8回	456人	8回	503人	熱中症が危惧される9月の開催を中止し開催回数が減ったが、参加人数は年々増加している。1回の参加人数が増えているため、安全面に配慮して実施していく。	→	継続
保健センター	109	地区組織活動 ＜再掲＞	市民が主体となった健康づくりの推進をはかるため、市民自身が多様な運動・体操などの活動を行うことを目的とする	健康リーダーが主体となり、中学校区に分かれて行う地区組織活動として、ウォーキングを実施	市民	枚方市を出発もしくは終点としたコースを選定し開催	—	—	3	57	身近な地域で体を動かすきっかけづくりとなった	→	継続
スポーツ振興課	110	市民スポーツカーニバル ＜再掲＞	市民の体力向上及び健康増進を図り、生涯スポーツの普及・振興及び市民相互の交流と親睦を促進するため。	体力測定、ニュースポーツ体験コーナー等 (枚方体育協会、枚方市スポーツ推進委員協議会等)	市民	総合スポーツセンター、渚市民体育館、伊加賀スポーツセンター	1回	1,727人	1回	2,685人	平成30年度は例年実施している総合スポーツセンターでの体力測定の他、屋外でニュースポーツ体験、屋内でカーリンコン、アウェースロー、AED体験を行い、パドミントン、卓球個人開放を実施した。また、渚体育館及び伊加賀スポーツセンターで体験コーナーや個人開放を行い、野外活動センターでは市民キャンプフェスティバルを実施した。	→	継続
スポーツ振興課	111	新春走ろうかい ひらかたハーフマラソン ＜再掲＞	「気軽に走ろうかい」を合言葉に、様々な種別を用意し、気軽に参加できるマラソン大会を開催することで、市民の健康増進やスポーツの推進、生涯の生きがいづくり等に貢献することを目指しています	大会の開催 (枚方体育協会)	市民	淀川河川公園枚方地区	1回	4,397人	1回	4,057人	枚方体育協会の主要事業の一つ。毎年約5,000人の市民ランナーが全国から集う。晴れ着で走る「二十歳の部」が名物。	→	継続
スポーツ振興課	112	パナソニック・パンサーズジュニア&親子バレーボール体験教室 ＜再掲＞	バレーボールの普及並びにトップアスリートとふれあうことにより、青少年の健全な育成、子どもたちのスポーツに対する関心を高め、夢を育む機会をつくる。	バレーボール教室の開催	市内親子	パナソニックアリーナ	1回	119人	1回	127人	平成30年度は枚方体育協会、ひらかたキングフィッシャースポーツクラブ主催により開催。本体験教室は、バレーボールの普及・市民スポーツ振興を目的に、パナソニックパンサーズの選手、スタッフの協力のもと開催した。	→	継続
スポーツ振興課	113	FCティアモによるサッカー教室 ＜再掲＞	サッカーを通じた、市民のスポーツ振興と青少年の健全育成のため。	関西リーグの公式戦観戦やサッカー教室の開催。	幼児、小、中、高校生	陸上競技場	6回	統計無し	3回	統計無し	トップアスリートとのふれあい事業（サッカー）を地元サッカーチームのFCティアモ枚方より協力を得て実施した。なお、全6回のうち2回は雨天中止、1回は枚方PR大使・新井場さんのサッカー教室を実施。	→	継続
スポーツ振興課	114	枚方市自然学校かわせみ自然塾 ＜再掲＞	市民に生涯学習の場と機会を提供し、アウトドアの楽しさや面白さを伝え、穂谷地区に残された、枚方市の自然を見つめ直すことによって、自然の大切さを知ってもらうこと。	1. キャンプ事業 2. 環境教育・体験学習事業 3. ネイチャーボランティア養成事業（指導者育成事業） 4. 健康スポーツ事業の4つの部門（テーマ）に分け、計画的かつ効率的に事業展開しています。 (枚方体育協会、ひらかたキングフィッシャースポーツクラブ)	市民	枚方市野外活動センターほか	64回	2,408人	53回	2,019人	枚方市の自然を生かしたプログラムを年間を通じて実施。天候関係の事業が天候不良等で5回中止になった。里山保全（全5回）の申込がなかったのでボランティア研修を実施。	→	継続
スポーツ振興課	115	ライフ・親子グラウンド・ゴルフ大会	子どもたちが幼児期から家族や地域の身近な人々と一緒に運動やスポーツに親しむことを通じ、スポーツへの関心を高める。	グラウンド・ゴルフ大会の開催。 (ライフ財団)	小学生及び保護者	伊加賀スポーツセンター	1回	104人	1回	93人	引き続き、各団体の活動を補助し、気軽に楽しく健康づくりができるレクリエーション活動の普及を図る。	→	継続

担当課	事業番号	施策名	目的	取組内容 (連携団体等)	対象者	開催場所	平成29年度取組実績		平成30年度取組実績				令和元年度 の取組方針
							実施回数	参加者数 (延べ数)	実施回数	参加者数 (延べ数)	評価	めざす 方向	
スポーツ振興課	116	ライフ・チャレンジ・ザ・ワーク	子どもたちが幼児期から家族や地域の身近な人々と一緒に運動やスポーツに親しむことを通じ、スポーツへの関心を高める。	ウォーキングイベントの開催。 (ライフ財団)	小学生及び保護者	山田池公園	1回	250人	1回	259人	引き続き、各団体の活動を補助し、気軽に楽しく健康づくりができるレクリエーション活動の普及を図る。	→	継続
福祉総務課	117	水泳教室 小学生 ＜再掲＞	水泳の苦手な小学生を対象に、水泳に親しんでもらいながら、技術の向上を図るため。	ラポールひらかた温水プール 管理運営委託業者	小学生	ラポールひらかた温水プール	6回	84人	6回	79人	継続で参加希望される方が多い	→	継続
スポーツ振興課	118	スポーツ教室 (体育協会主催) ＜再掲＞	子どもから高齢者まで、スポーツに関するあらゆる目的の人が、スポーツ・運動を楽しめる場を提供し、地域振興とスポーツの普及・振興及び、市民の健康増進等、社会全体の利益の増進に寄与することを目的とする。	クラブ活動・スポーツ大会や教室、講習会の実施 (枚方体育協会)	市民	市内スポーツ施設	①10回 ② 1回 ③ 2回 ④ 5回	①110人 ② 35人 ③ 60人 ④129人	①1回 ②2回 ③3回 ④1回	①34人 ②39人 ③58人 ④18人	①野草観察教室 ②日本拳法初心者教室 ③相撲教室 ④宇治川カヌーツーリング	→	継続
スポーツ振興課	119	スポーツ少年団活動支援事業	スポーツ少年団活動をより活発にさせることによって、少年にスポーツに接する機会を与え、より多くのスポーツを通じ身体的・精神的両面の健全育成に寄与すること。	スポーツ少年団各団体の登録団員・指導者数を増やすことで、少年スポーツ活動の促進を図る。	スポーツ少年団(団員、指導者)	—	通年	登録者1,784人 指導者409 団員1,375	通年	登録者1,673人 指導者381 団員1,292	57団体から団員1,292人、指導者381人の登録があり、各大会運営等の支援を行った。引き続き、各団体の活動を活発に行えるよう支援する。	→	継続
スポーツ振興課	120	ひらかたラグビーカーニバル ＜再掲＞	市民スポーツの振興を図り、健康維持・体力増進を図るため。	スポーツ教室、交流試合等 (枚方体育協会)	市民	陸上競技場	1回	537人	1回	534人	トップリーグ等による講習会をはじめ、中学対抗戦、高校招待試合、7人制大会など「ラグビーのまち・ひらかた」を象徴するイベントとして好評。	→	継続
スポーツ振興課	121	トップアスリートとのふれあい事業 ＜再掲＞	トップアスリートとふれあうことにより、青少年の健全な育成、子どもたちのスポーツに対する関心を高め、夢を育む機会をつくる。	スポーツ教室、講演会等 (枚方体育協会)	市民	総合スポーツセンター等	2回	1,073人	2回	483名	①レスリング 「吉田沙保里さんトークショー」 ②ノーマライゼーション陸上競技チャレンジ 講師：朝原宣治氏・荒川大輔氏・大岩雄飛氏・佐藤圭太氏・多川知希氏・池田樹生氏・階戸健太氏	→	継続
みち・みどり室	122	複合型公園遊具の整備促進	子どもたちが複合型公園遊具で遊ぶことにより、チャレンジ精神・危険予知能力・バランス感覚を磨き、心身ともに増強する。	複合型公園遊具の整備	市民	市内公園	2基	統計無し	3基	統計無し	北山公園・桜公園に、複合型公園遊具3基の整備を行った。	→	継続

取組課題2. 子どものスポーツ活動の充実

施策の方向（3）子どもがスポーツを楽しむための条件整備

具体的施策（施策の基本目標）. ②子どもを対象としたスポーツ活動

- 体育協会やスポーツ推進委員等の関係団体と連携した幼児や小学生対象のスポーツ教室などの開催支援
- 地域において子どもがスポーツ活動を行うことができる環境づくり
- 中・高校生や若者が男女の区別なく参加し、継続できるスポーツの機会提供
- 男女共同参画の視点に配慮した指導や育成、スポーツ活動への参加機会の拡大

平成30年度のめざす方向を受けての令和元年度取組方針（完了、継続、拡充・拡大に向けた見直し、廃止）

担当課	事業番号	施策名	目的	取組内容 （連携団体等）	対象者	開催場所	平成29年度取組実績		平成30年度取組実績				令和元年度 の取組方針
							実施回数	参加者数 (延べ数)	実施回数	参加者数 (延べ数)	評価	めざす 方向	
教育指導課	123	小学校陸上競技大会	市内小学校の児童がスポーツをする喜びを感じ、競技を通して交流を図るとともに、児童の体力の向上を図る。	小学生陸上競技大会 種目：100m走、800m走、400mリレー、走り高跳び、走り幅跳び 参加校：46校（市立小学校45校、関西創価小学校）	小学生5年生・6年生	枚方市立陸上競技場	1回	参加児童1,427人	1回	参加児童1,205人	第21回大会を市内45小学校に関西創価小学校を加えた46校で実施した。 参加児童は競技を通して交流を図り、スポーツをする喜びに触れることができた。	→	継続
教育指導課	124	小学生駅伝競走大会	市内小学校の児童がスポーツをする喜びを感じ、競技を通して交流を図るとともに、児童の体力の向上を図る。	小学生駅伝競走大会 コース：水辺公園周回（9,500m） 参加校：市立小学校45校	小学生5年生・6年生	淀川河川公園枚方地区	1回	参加児童422人	1回	参加児童405人	第20回大会に市内45小学校が参加した。 参加児童は、日ごろの取組みの成果を発揮し、滞りなく実施することができた。	→	継続
スポーツ振興課	125	市民スポーツカーニバル ＜再掲＞	市民の体力向上及び健康増進を図り、生涯スポーツの普及・振興及び市民相互の交流と親睦を促進するため。	体力測定、ニュースポーツ体験コーナー等 （枚方体育協会、枚方市スポーツ推進委員協議会等）	市民	総合スポーツセンター、渚市民体育館、伊加賀スポーツセンター	1回	1,727人	1回	2,685人	平成30年度は例年実施している総合スポーツセンターでの体力測定の他、屋外でニュースポーツ体験、屋内でカーリンコン、アウェースロー、AED体験を行い、バドミントン、卓球個人開放を実施した。また、渚体育館及び伊加賀スポーツセンターで体験コーナーや個人開放を行い、野外活動センターでは市民キャンプフェスティバルを実施した。	→	継続
スポーツ振興課	126	ひらかたラグビーカーニバル ＜再掲＞	市民スポーツの振興を図り、健康維持・体力増進を図るため。	スポーツ教室、交流試合等 （枚方体育協会）	市民	陸上競技場	1回	537人	1回	534人	トップリーグ等による講習会をはじめ、中学対抗戦、高校招待試合、7人制大会など「ラグビーのまち・ひらかた」を象徴するイベントとして好評。	→	継続
スポーツ振興課	127	トップアスリートとのふれあい事業 ＜再掲＞	トップアスリートとふれあうことにより、青少年の健全な育成、子どもたちのスポーツに対する関心を高め、夢を育む機会をつくる。	スポーツ教室、講演会等 （枚方体育協会）	市民	総合スポーツセンター等	2回	1,073人	2回	483名	①レスリング 「吉田沙保里さんトークショー」 ②ノーマライゼーション陸上競技チャレンジ 講師：朝原宣治氏・荒川大輔氏・大岩雄飛氏・佐藤圭太氏・多川知希氏・池田樹生氏・階戸健太氏	→	継続
スポーツ振興課	128	パナソニック・パンサーズジュニア&親子バレーボール体験教室 ＜再掲＞	バレーボールの普及並びにトップアスリートとふれあうことにより、青少年の健全な育成、子どもたちのスポーツに対する関心を高め、夢を育む機会をつくる。	バレーボール教室の開催	市内親子	パナソニックアリーナ	1回	119人	1回	127人	平成30年度は枚方体育協会、ひらかたキングフィッシャースポーツクラブ主催により開催。本体験教室は、バレーボールの普及・市民スポーツ振興を目的に、パナソニックパンサーズの選手、スタッフの協力のもと開催した。	→	継続
スポーツ振興課	129	FCティアモによるサッカー教室 ＜再掲＞	サッカーを通じた、市民のスポーツ振興と青少年の健全育成のため。	関西リーグの公式戦観戦やサッカー教室の開催。	幼児、小、中、高校生	陸上競技場	6回	統計無し	3回	統計無し	トップアスリートとのふれあい事業（サッカー）を地元サッカーチームのFCティアモ枚方より協力を得て実施した。なお、全6回のうち2回は雨天中止、1回は枚方PR大使・新井場さんのサッカー教室を実施。	→	継続

担当課	事業番号	施策名	目的	取組内容 （連携団体等）	対象者	開催場所	平成29年度取組実績		平成30年度取組実績				令和元年度 の取組方針
							実施回数	参加者数 （延べ数）	実施回数	参加者数 （延べ数）	評価	めざす 方向	
スポーツ振興課	130	幼児げんき（3B）体操教室 ＜再掲＞	子どもから高齢者まで、スポーツに関するあらゆる目的の人が、スポーツ・運動を楽しめる場を提供し、地域振興とスポーツの普及・振興及び、市民の健康増進等、社会全体の利益の増進に寄与することを目的とする。	クラブ活動・スポーツ大会や教室、講習会の実施 （ひらかたキングフィッシャーズスポーツクラブ）	市民	渚市民体育館 会議室	40回	254人	50回	290人	子育て期の親子によるリズム体操。親子のスキンシップと母親の運動不足解消やリフレッシュに人気。	→	継続
スポーツ振興課	131	スポーツ少年団活動支援	枚方市スポーツ少年団の活動を支援し、青少年の健全な育成に寄与する。	補助金の交付	—	—	1回	統計無し	1回	統計無し	各大会運営等の支援を行った。引き続き、対象事業を明確にした上でスポーツ少年団へ補助を行い、各団体の活動を活発に行えるよう支援する。	→	継続
スポーツ振興課	132	総合型地域スポーツクラブによるスポーツ教室の開催 ＜再掲＞	子どもから高齢者まで、スポーツに関するあらゆる目的の人が、スポーツ・運動を楽しめる場を提供し、地域振興とスポーツの普及・振興及び、市民の健康増進等、社会全体の利益の増進に寄与することを目的とする。	クラブ活動・スポーツ大会や教室、講習会の実施 （ひらかたキングフィッシャーズスポーツクラブ）	市民他	市内スポーツ施設	定期活動11種目 スクール活動10種目	HKSC 38,508人	定期活動11種目 スクール活動10種目	HKSC 37,436人	枚方市唯一の総合型クラブを枚方体育協会が運営。会員数は約700名。陸上競技やバレーボールのスクールチームは全国大会等でも活躍。市民の健康面や生活面でよい効果が出ており、今後も拡充拡大を目指していく。	↗	拡充・拡大に向けた見直し
スポーツ振興課	133	枚方体育協会加盟団体等によるスポーツ教室の開催 ＜再掲＞	子どもから高齢者まで、スポーツに関するあらゆる目的の人が、スポーツ・運動を楽しめる場を提供し、地域振興とスポーツの普及・振興及び、市民の健康増進等、社会全体の利益の増進に寄与することを目的とする。	クラブ活動・スポーツ大会や教室、講習会の実施 （枚方体育協会）	市民他	市内スポーツ施設	加盟団体23団体（スポーツ振興特別事業のみ）	加盟団体 2,995人	加盟団体23団体（スポーツ振興特別事業のみ）	加盟団体 2,697人	枚方体育協会加盟の28団体中、23団体が各種目の専門性を活かし、技術力向上教室、指導者講習会、審判講習会など種目毎のスポーツ推進を展開。市民の健康増進等に寄与するため、さらなるスポーツ人口増加の取り組みを進めていく。	↗	拡充・拡大に向けた見直し
子ども青少年政策課	134	枚方子どもいきいき広場事業	スポーツや工作、音楽鑑賞、伝承遊び等の活動を通じて、これからの時代を担う子どもたちの「生きる力」を育てていくことを目的とする。	土曜日の学校休業日を基本に各小学校で実施団体が取り組む児童健全育成事業に対して、市が支援・助成を行っている。各実施団体が活動内容を企画しており、スポーツの分野においても、野球やサッカー等の球技のほか、講師を招き「走り方教室」を実施するなど幅広いプログラムが展開されている。	各小学校に在籍または校区に住む小学生	各小学校	1,517回	60,965人	1,416回	52,780人	グラウンドゴルフやカヌー、カーリンコンなど特色あるスポーツを実施している団体もあり、児童が様々なスポーツを体験する貴重な機会となった。平成30年度は震災及び大雨等の自然災害の影響により、実施回数が当初の計画から94回の減となった。	→	継続
スポーツ振興課	135	スポーツ少年団活動支援事業 ＜再掲＞	スポーツ少年団活動をより活発にさせることによって、少年にスポーツに接する機会を与え、より多くのスポーツを通じ身体的・精神的両面の健全育成に寄与すること。	スポーツ少年団各団体の登録団員・指導者数を増やすことで、少年スポーツ活動の促進を図る。	スポーツ少年団（団員、指導者）	—	通年	登録者1,784人 指導者409 団員1,375	通年	登録者1,673人 指導者381 団員1,292	57団体から団員1,292人、指導者381人の登録があり、各大会運営等の支援を行った。引き続き、各団体の活動を活発に行えるよう支援する。	→	継続
スポーツ振興課	136	スポーツ教室 （体育協会主催） ＜再掲＞	子どもから高齢者まで、スポーツに関するあらゆる目的の人が、スポーツ・運動を楽しめる場を提供し、地域振興とスポーツの普及・振興及び、市民の健康増進等、社会全体の利益の増進に寄与することを目的とする。	クラブ活動・スポーツ大会や教室、講習会の実施 （枚方体育協会）	市民	市内スポーツ施設	①10回 ② 1回 ③ 2回 ④ 5回	①110人 ② 35人 ③ 60人 ④129人	①1回 ②2回 ③3回 ④1回	①34人 ②39人 ③58人 ④18人	①野草観察教室 ②日本拳法初心者教室 ③相撲教室 ④宇治川カヌーツーリング	→	継続
スポーツ振興課	137	枚方市長杯枚方市高等学校バレーボール選手権大会	高校生が目的をもって運動やスポーツに取り組む、継続できるスポーツの機会提供のため。	市内の高校を集めた競技大会の開催。	高校生	総合スポーツセンター	1回	394人	1回	425人	市内高校バレーボール大会を実施し、同競技の振興と青少年の健全育成を図った。	→	継続

取組課題2. 子どものスポーツ活動の充実

施策の方向（3）子どもがスポーツを楽しむための条件整備

具体的施策（施策の基本目標）. ③幼稚園・保育所（園）、認定こども園、小・中学校等における体力向上の取組の推進

平成30年度のめざす方向を受けての令和元年度取組方針（完了、継続、拡充・拡大に向けた見直し、廃止）

○幼稚園・保育所（園）、小・中学校等における体力向上の取組

担当課	事業番号	施策名	目的	取組内容 （連携団体等）	対象者	開催場所	平成29年度取組実績		平成30年度取組実績				令和元年度 の取組方針
							実施回数	参加者数 （延べ数）	実施回数	参加者数 （延べ数）	評価	めざす 方向	
教育指導課	138	各学校の体力向上推進計画に基づく体力向上	市立全小中学校において、「体力向上推進計画」を作成し、その内容をふまえた指導を行うことで、体育や部活動の時間を通して子どもたちの体力増進を図る。	各学校が作成した「体力向上推進計画」に基づき、児童・生徒の実情に応じて、体育や部活動の時間を通した体力向上の取り組みを進める。	小中学生	各学校	統計なし	「体力向上推進計画」を作成した学校数 64校	統計なし	「体力向上推進計画」を作成した学校数 64校	全国体力・運動能力、運動習慣等調査を実施し、各小・中学校でその結果を踏まえた体力向上推進計画を作成し、体力向上に向けた取り組みを推進した。	→	継続
教育指導課	139	小学校水泳教室	全小学校で夏期休業中に「水泳教室」を実施し、児童の泳力向上と体力向上を図る。	枚方市水泳進級表等を活用しながら、児童一人が目標を持って取り組める「水泳教室」を実施する。	小学生	各小学校	延べ437回	統計なし	延べ450回	統計なし	「熱中症予防のための運動指針」に基づき、記録的な猛暑の影響で教室を中断・中止することもあったが、実施された「水泳教室」において、児童の泳力向上と体力向上を図ることができた。	→	継続

取組課題2. 子どものスポーツ活動の充実

施策の方向（3）子どもがスポーツを楽しむための条件整備

具体的施策（施策の基本目標）. ④野外活動センターにおける青少年の健全育成

○子どもたちが自然とふれあえる野外教室の充実

平成30年度のめざす方向
を受けての令和元年度取組方針
(完了、継続、拡充・拡大に向け
た見直し、廃止)
↓

担当課	事業番号	施策名	目的	取組内容 (連携団体等)	対象者	開催場所	平成29年度取組実績		平成30年度取組実績				令和元年度 の取組方針
							実施回数	参加者数 (延べ数)	実施回数	参加者数 (延べ数)	評価	めざす 方向	
みち・みどり室	140	里山ウォーキング ＜再掲＞	おおさか環状自然歩道で里山ウォーキングを開催し、子どもを含めた多くの世代の市民に身近に存在する里山のみどりを感じてもらうことで、東部地域の豊かな自然を守り、里山保全の意識を向上することを目指す。	「津田国見山おおさか環状自然歩道」を野外活動センターまで歩く。野外活動センターでは、まきで作るカレーライスと太陽観望を体験。 (津田里山保全倶楽部)	市民（小学生以下は保護者同伴）	津田国見山 おおさか環状自然歩道 → 野外活動センター	1回	50人	1回	44名	平成29年度より春休みに実施し、今年度も予約段階から盛況であった。しかし、今年度は雨天により延期となったことから、参加者が多少減少となった。	→	継続
スポーツ振興課	141	枚方市自然学校かわせみ自然塾 ＜再掲＞	市民に生涯学習の場と機会を提供し、アウトドアの楽しさや面白さを伝え、穂谷地区に残された、枚方市の自然を見つめ直すことによって、自然の大切さを知ってもらうこと。	1. キャンプ事業 2. 環境教育・体験学習事業 3. ネイチャーボランティア養成事業（指導者育成事業） 4. 健康スポーツ事業の4つの部門（テーマ）に分け、計画的かつ効率的に事業展開しています。 (枚方体育協会、ひらかたキングフィッシャーズスポーツクラブ)	市民	枚方市野外活動センターほか	64回	2,408人	53回	2,019人	枚方市の自然を生かしたプログラムを年間を通じて実施。天候関係の事業が天候不良等で5回中止になった。里山保全（全5回）の申込がなかったためボランティア研修を実施。	→	継続
スポーツ振興課	142	学校キャンプ支援事業	野外活動を通じて子どもたちの生きる力を育むため、学校利用の促進を図るとともに、自然学習や活動プログラムの拡充を図る。	野外活動プログラムの提供、施設までの交通手段の支援。	市内小中学生	野外活動センター	延べ 小学校26校 中学校3校	小学校2,333人 中学校447人	延べ 小学校26校 中学校4校	小学校1,882人 中学校717人	利用促進のため「学校キャンプ支援事業」を実施し、事業の1つとして、送迎用バス借上げを行った。引き続き支援事業を継続して実施する。	→	継続
スポーツ振興課	143	野外活動センター維持管理事業	小・中学校の校外学習や市民の健康体づくり等、豊かな市民生活をおくる場としてセンターの活性化を図り、青少年の健全育成を図る。	運営事業委託 (枚方体育協会)	—	野外活動センター	通年	統計無し	通年	統計無し	引き続き、センター活性化等を図っていく。	→	継続

取組課題2. 子どものスポーツ活動の充実

施策の方向（3）子どもがスポーツを楽しむための条件整備

具体的施策（施策の基本目標）. ⑤学校部活動の充実

- 学校体育施設の適切な維持管理
- 既存の体育指導法の研修内容の充実、各種指導者研修会等に関する情報提供
- 部活動外部指導者の派遣

平成30年度のめざす方向
を受けての令和元年度取組方針
（完了、継続、拡充・拡大に向け
た見直し、廃止）
↓

担当課	事業番号	施策名	目的	取組内容 （連携団体等）	対象者	開催場所	平成29年度取組実績		平成30年度取組実績				令和元年度 の取組方針
							実施回数	参加者数 （延べ数）	実施回数	参加者数 （延べ数）	評価	めざす 方向	
スポーツ振興課	144	インストラクター・ボランティア基礎養成講座 フォローアップ研修 ＜再掲＞	スポーツ指導やスポーツボランティアを行う 上で知っておきたい基礎知識（コーチング 論・ボランティア論・スポーツ栄養など）を 提供し、新しい指導者の育成と既存指導者 に対するスキルアップを目指す。	講習会の実施 （枚方体育協会）	市民	渚市民体育館	3回	101人	3回	105人	指導者およびボランティアの育成と 発掘を目的とした講座。スポーツサ ポーターズバンクへの登録者が活動 することで、多くの市民がスポーツ の機会に触れることができている。		拡充・拡大に向けた見直 し
教育指導課	145	枚方市立中学校部活動指導協 力者派遣事業 ＜再掲＞	部活動の活性化と充実を図るとともに、顧問 教員の時間的余裕を生み生徒指導や授業研究 の時間を確保するため、各中学校に専門的な 知識や技能を有する部活動指導協力者を派遣 する。	部活動の活性化と充実のた め、各中学校の実態やニーズ に合わせて、効果的に部活動 指導協力者の活用を図る。	市内中学生	市立中学校	派遣回数 5,873回	派遣者数 104人	派遣回数 5,333回	派遣者数 103人	各中学校で部活動指導協力者を効果 的に活用した。 派遣回数の減少は、部活動運営方針 が考慮されたものと考えられる。		継続

取組課題3. 多様なニーズに対応したスポーツ環境の充実

施策の方向（4）地域スポーツの充実

具体的施策（施策の基本目標）. 地域住民が主体的に参加・参画するスポーツイベントの機会を充実し、地域の自発的な活動の促進や地域の一体感や活力の醸成を促す

- 地域の実情に応じた市民参加型スポーツ活動の推進
- スポーツ推進委員の地域におけるスポーツ活動への支援の充実
- ニューススポーツの研究・開発
- ニューススポーツの紹介・普及の推進

平成30年度のめざす方向
を受けての令和元年度取組方針
(完了、継続、拡充・拡大に向け
た見直し、廃止)
↓

担当課	事業番号	施策名	目的	取組内容 (連携団体等)	対象者	開催場所	平成29年度取組実績		平成30年度取組実績				令和元年度 の取組方針
							実施回数	参加者数 (延べ数)	実施回数	参加者数 (延べ数)	評価	めざす 方向	
市民活動課	146	校区コミュニティ活動補助金 交付事業	地域において行われるコミュニティ活動を支援し、安全で魅力あるまちづくりの推進及び地域住民の連携の促進を図る。	区民体育祭 (校区コミュニティ協議会)	市民	市内の小学校	22(校区) ※事業報告書より集計 ※雨天中止を除く	統計無し	26(校区) ※事業報告書より集計	統計なし	現状のまま継続し推進していく	→	継続
スポーツ振興課	147	スポーツ推進委員関係事務 ＜再掲＞	市内45小学校区にスポーツ推進委員を委嘱し、社会体育の普及・振興を図り、地域社会の充実と発展を期すること。	スポーツ基本法に基づき委嘱されたスポーツ推進委員が地域住民のスポーツに関して指導助言を行い、生涯スポーツの普及振興を図っていく。	市民	市内各校区	通年	統計無し	通年	統計無し	研修には延べ43人、その他イベント等には延べ124人が参加した。引き続きスポーツ推進委員活動の活性化を図る。	→	継続
スポーツ振興課	148	ニューススポーツの普及、啓発	子どもから高齢者まで、地域住民が主体的に参加・参画するスポーツイベントの機会を充実し、スポーツを通じた交流の場づくりを支援する。	市民スポーツカーニバル等での体験会の実施。	市民	総合スポーツセンター、渚市民体育館、伊加賀スポーツセンター等	1回	169人	1回	358人	引き続き、スポーツカーニバル等で体験会を実施し、地域住民へスポーツイベントの参加機会を提供していく。	→	継続
スポーツ振興課	149	グラウンド・ゴルフ備品の貸出	地域において行われるスポーツ活動を支援するため。	スポーツ推進委員で所有しているグラウンド・ゴルフの備品を地域のスポーツ活動に使用するため貸出する。	市民	市内	21回	統計無し	20回	統計無し	引き続き、地域のスポーツ活動を支援するため、備品等貸し出しを行っていく。	→	継続
スポーツ振興課	150	ニューススポーツ備品の貸出	地域において行われるスポーツ活動を支援するため。	スポーツ推進委員で所有しているニューススポーツの備品を地域のスポーツ活動に使用するため貸出する。	市民	市内	13回	統計無し	24回	統計無し	引き続き、地域のスポーツ活動を支援するため、備品等貸し出しを行っていく。	→	継続
スポーツ振興課	151	ニューススポーツの創出	子どもから高齢者まで、誰でも手軽に楽しめる新しいスポーツを創出することで、市民が多様なスポーツに触れることができる機会を提供する。	地域で活躍するスポーツ推進委員により、これまでにない新しいスポーツを日々研究、開発する。	関係団体	市内	1回	50人	1回	50人	過去にスポーツ推進委員協議会において「アウエースロー」を独自開発しているが、今後も市民の健康増進に寄与するよう日々研究を進めている。	→	継続

取組課題3. 多様なニーズに対応したスポーツ環境の充実

施策の方向（5）障害者スポーツの促進

具体的施策（施策の基本目標）。①障害者のスポーツ活動への支援の充実

○障害者のスポーツ大会などへの参加支援
○障害者のスポーツの指導者育成
○障害者のスポーツ環境の整備

平成30年度のめざす方向
を受けての令和元年度取組方針
（完了、継続、拡充・拡大に向け
た見直し、廃止）
↓

担当課	事業番号	施策名	目的	取組内容 （連携団体等）	対象者	開催場所	平成29年度取組実績		平成30年度取組実績				令和元年度 の取組方針
							実施回数	参加者数 （延べ数）	実施回数	参加者数 （延べ数）	評価	めざす 方向	
障害福祉室	152	交通手段の支援	障害者スポーツ大会出場に係る移動手段の確保	リフト付福祉バスを利用した送迎 ・大阪府障害者スポーツ大会 陸上競技／卓球／水泳競技 ・京阪ブロックスポーツレクリエーション大会	大会出場者	万博記念公園競技場等	3回	約60人	3回	約60人	継続で参加希望される方が多い	→	継続
みち・みどり室	153	都市公園有料施設管理事業	枚方市のスポーツ推進のため、体制及び環境整備を行う。	（公財）枚方体育協会・木幸SP共同企業体を指定管理者として選定。	—	王仁公園 中の池公園 香里ヶ丘中央公園	通年	統計無し	通年	統計無し	次年度の指定管理者更新に向け、利用料金制を導入して自主事業による施設の利用促進を図れるよう検討した。	→	継続
スポーツ振興課	154	総合スポーツセンター管理事業	市民がスポーツに親しむ場としての環境整備を進める。	枚方体育協会を指定管理者として選定。	—	総合スポーツセンター	通年	統計無し	通年	統計無し	施設の管理運営業務が概ね良好で、適時モニタリングを実施し、必要に応じて改善等の指示を行っていく。	→	継続
スポーツ振興課	155	渚市民体育館管理事業	市民がスポーツに親しむ場としての環境整備を進める。	枚方体育協会を指定管理者として選定。	—	渚市民体育館	通年	統計無し	通年	統計無し	施設の管理運営業務が概ね良好で、適時モニタリングを実施し、必要に応じて改善等の指示を行っていく。	→	継続
スポーツ振興課	156	伊加賀スポーツセンター管理事業	市民がスポーツに親しむ場としての環境整備を進める。	枚方体育協会を指定管理者として選定。	—	伊加賀スポーツセンター	通年	統計無し	通年	統計無し	施設の管理運営業務が概ね良好で、適時モニタリングを実施し、必要に応じて改善等の指示を行っていく。	→	継続
スポーツ振興課	157	サブリ村野スポーツセンター管理事業	市民がスポーツに親しむ場としての環境整備を進める。	ひらかた支援活動NPOセンターへ委託。	—	サブリ村野スポーツセンター	通年	統計無し	通年	統計無し	引き続き適切に施設の管理運営を行っていく。	→	継続

取組課題3. 多様なニーズに対応したスポーツ環境の充実

施策の方向（5）障害者スポーツの促進

具体的施策（施策の基本目標）. ②障害者のスポーツ・レクリエーション活動の充実

- 障害児を対象としたスポーツ教室の開催
- 障害者のスポーツ体験会の開催
- 「大阪府障がい者スポーツ大会」への参加促進
- 総合型地域スポーツクラブと連携した障害者（児）向けスポーツ活動の推進

平成30年度のめざす方向
を受けての令和元年度取組方針
（完了、継続、拡充・拡大に向け
た見直し、廃止）
↓

担当課	事業番号	施策名	目的	取組内容 （連携団体等）	対象者	開催場所	平成29年度取組実績		平成30年度取組実績				令和元年度 の取組方針
							実施回数	参加者数 （延べ数）	実施回数	参加者数 （延べ数）	評価	めざす 方向	
福祉総務課	158	水泳教室 障害者（幼児） ＜再掲＞	社会性の向上や、社会的自立を目指すため。	ラポールひらかた温水プール 管理運営委託業者	幼児	ラポールひ らかた 温水プール	15回	151人	18回	352人	継続で参加希望される方が多い	→	継続
福祉総務課	159	水泳教室 障害者（小・中・高校生） ＜再掲＞	社会性の向上や、社会的自立を目指すため。	ラポールひらかた温水プール 管理運営委託業者	小・中・高 校生	ラポールひ らかた 温水プール	29回	379人	54回	788人	継続で参加希望される方が多い	→	継続
福祉総務課	160	水泳教室 障害者（中学生以上） ＜再掲＞	社会性の向上や、社会的自立を目指すため。	ラポールひらかた温水プール 管理運営委託業者	中学生以上	ラポールひ らかた 温水プール	25回	398人	76回	528人	継続で参加希望される方が多い	→	継続
障害福祉室	161	障害者スポーツ講習会 ＜再掲＞	障害児・障害者のスポーツ振興とスポーツを通じた交流を目的に障害者スポーツの普及を図ります。	卓球、フライングディスク、 ボッチャ等を実施 （枚方障害者スポーツ連絡 会）	障害児・障 害者 と家族	市総合体育 館 伊加賀、 渚、サブリ 村野体育館 等	150回	2,190人	139回	2,104人	現状のまま継続し推進していく	→	継続
障害福祉室	162	ふれあいスポーツ交流会 ＜再掲＞	知的障害者の社会参加や交流する機会として開催	障害者当事者による実行 委員会形式でスポーツイベン トを実施 （枚方市社会福祉協議会）	障害者	市総合体育 館	1回	362人	荒天のため 中止	－	現状のまま継続し推進していく	→	継続
スポーツ振興課	163	車いすテニス教室	子どもから高齢者まで、スポーツに関するあらゆる目的の人が、スポーツ・運動を楽しめる場を提供し、地域振興とスポーツの普及・振興及び、市民の健康増進等、社会全体の利益の増進に寄与することを目的とする。	クラブ活動・スポーツ大会や 教室、講習会の実施	市民	市内スポー ツ施設	36回	173人	26回	164人	現状のまま継続し推進していく	→	継続
スポーツ振興課	164	FCティアモによるサッカー教室 ＜再掲＞	サッカーを通じた、市民のスポーツ振興と青少年の健全育成のため。	関西リーグの公式戦観戦や サッカー教室の開催。	幼児、小、 中、高校生	陸上競技場	6回	統計無し	3回	統計無し	トップアスリートとのふれあい事業（サッカー）を地元サッカーチームのFCティアモ枚方より協力を得て実施した。なお、全6回のうち2回は雨天中止、1回は枚方PR大使・新井場さんのサッカー教室を実施。	→	継続
スポーツ振興課	165	淀川河川公園ふれあいマラソン ＜再掲＞	障がいのある方もない方も、子供からお年寄りまで幅広い世代の多様な方々が同じスポーツやレクリエーションイベントに参加、交流する機会を提供し、ノーマライゼーションの理念の普及啓発を測り、地域活力の向上に貢献することを目的とする	障がいの有無を問わず、幅広い世代の方が参加できる短い距離の「ふれあいマラソン」、フライングディスクやバドミントン大会、車いす体験コーナーなど、どなたでも楽しめるレクリエーション・プログラムや飲食ブースの出店で賑わいあるイベントとなる事を目指す （枚方体育協会）	府下全域の 方	淀川河川公園 枚方地区	1回	859人	1回	1,915人	天気に恵まれ、マラソン及びレクリエーションプログラムとも増加した。	→	継続
スポーツ振興課	166	トリプルバドミントン交流会 ＜再掲＞	バドミントンが初めての方も、うまくできる自信のない方も また、見学するだけの方も、どなたでも参加できる人と人とをむすぶ事を目的とする。	障害者・高齢者・健常者のトリプル・子ども・若者・シニアのトリプル・親子3世代のトリプル いろんな「トリプル」で楽しく交流する （枚方体育協会）	近隣	渚市民体育 館	2回	214人	1回	135人	障がい者支援団体の活動をサポート。障がい者と健常者がスポーツを通じた交流の場を提供。	→	継続

担当課	事業番号	施策名	目的	取組内容 （連携団体等）	対象者	開催場所	平成29年度取組実績		平成30年度取組実績				令和元年度 の取組方針
							実施回数	参加者数 （延べ数）	実施回数	参加者数 （延べ数）	評価	めざす 方向	
障害福祉室	167	交通手段の支援 ＜再掲＞	障害者スポーツ大会出場に係る移動手段の確保	リフト付福祉バスを利用した送迎 ・大阪府障害者スポーツ大会 陸上競技／卓球／水泳競技 ・京阪ブロックスポーツレクリエーション大会	大会出場者	万博記念公園競技場等	3回	約60人	3回	約60人	継続で参加希望される方が多い	→	継続
スポーツ振興課	168	ジュニアスポーツスクールの開催	神経系の発達が著しい小学生の時期に様々なスポーツに挑戦することで、コミュニケーション能力の向上や将来の可能性を広げる。	発育年齢に応じたスポーツプログラムの提供を行う。 （枚方体育協会）	小学生	市総合体育館	47回	852人	45回	921人	特定の種目に限定せず、様々なスポーツを体験することで、体を動かすことの楽しさを伝えられるとともに、様々な学校から様々な学年の児童が参加することで、学校間、年代間を超えてコミュニケーションを図ることができている。	→	継続

取組課題3. 多様なニーズに対応したスポーツ環境の充実

施策の方向（6）スポーツ資源の充実と活用

具体的施策（施策の基本目標）. ①スポーツ施設の整備充実

- スポーツ活動に適した施設・設備の整備・充実
- スポーツ施設の適切な管理・運営

平成30年度のめざす方向
を受けての令和元年度取組方針
(完了、継続、拡充・拡大に向け
た見直し、廃止)
↓

担当課	事業番号	施策名	目的	取組内容 (連携団体等)	対象者	開催場所	平成29年度取組実績		平成30年度取組実績				令和元年度 の取組方針
							実施回数	参加者数 (延べ数)	実施回数	参加者数 (延べ数)	評価	めざす 方向	
みち・みどり室	169	都市公園有料施設管理事業 ＜再掲＞	枚方市のスポーツ推進のため、体制及び環境整備を行う。	(公財)枚方体育協会・木幸SP共同企業体を指定管理者として選定。	—	王仁公園 中の池公園 香里ヶ丘中 央公園	通年	統計無し	通年	統計無し	次年度の指定管理者更新に向け、利用料金制を導入して自主事業による施設の利用促進を図れるよう検討した。	→	継続
スポーツ振興課	170	総合スポーツセンター管理事業 ＜再掲＞	市民がスポーツに親しむ場としての環境整備を進める。	枚方体育協会を指定管理者として選定。	—	総合スポーツセンター	通年	統計無し	通年	統計無し	施設の管理運営業務が概ね良好で、適時モニタリングを実施し、必要に応じて改善等の指示を行っていく。	→	継続
スポーツ振興課	171	渚市民体育館管理事業 ＜再掲＞	市民がスポーツに親しむ場としての環境整備を進める。	枚方体育協会を指定管理者として選定。	—	渚市民体育館	通年	統計無し	通年	統計無し	施設の管理運営業務が概ね良好で、適時モニタリングを実施し、必要に応じて改善等の指示を行っていく。	→	継続
スポーツ振興課	172	伊加賀スポーツセンター管理事業 ＜再掲＞	市民がスポーツに親しむ場としての環境整備を進める。	枚方体育協会を指定管理者として選定。	—	伊加賀スポーツセンター	通年	統計無し	通年	統計無し	施設の管理運営業務が概ね良好で、適時モニタリングを実施し、必要に応じて改善等の指示を行っていく。	→	継続
スポーツ振興課	173	サブリ村野スポーツセンター管理事業 ＜再掲＞	市民がスポーツに親しむ場としての環境整備を進める。	ひらかた支援活動NPOセンターへ委託。	—	サブリ村野スポーツセンター	通年	統計無し	通年	統計無し	引き続き適切に施設の管理運営を行っていく。	→	継続
スポーツ振興課	174	東部公園野球場管理事業	野球場の不足に対応し、市民のスポーツ活動を支援する。	硬式野球ができる野球場の整備や施設維持を行い、管理運営に必要な備品を整備する	—	東部公園野球場	通年	統計無し	通年	統計無し	4月よりナイター時間帯の受付を開始。6月中旬～9月まで災害による修繕工事のため閉鎖した。引き続き適切に施設の管理運営を行っていく。	→	継続

取組課題3. 多様なニーズに対応したスポーツ環境の充実

施策の方向（6）スポーツ資源の充実と活用

具体的施策（施策の基本目標）. ②効率的なスポーツ施設の運営と利便性の向上

- スポーツ施設の利便性の向上
- 指定管理制度によるスポーツ施設の管理と民間活力を活かした特色ある運営
- 大学や企業等と協働によるスポーツ活動施設等の確保

平成30年度のめざす方向
を受けての令和元年度取組方針
(完了、継続、拡充・拡大に向け
た見直し、廃止)
↓

担当課	事業番号	施策名	目的	取組内容 (連携団体等)	対象者	開催場所	平成29年度取組実績		平成30年度取組実績				令和元年度 の取組方針
							実施回数	参加者数 (延べ数)	実施回数	参加者数 (延べ数)	評価	めざす 方向	
みち・みどり室	175	都市公園有料施設管理事業 ＜再掲＞	枚方市のスポーツ推進のため、体制及び環境整備を行う。	(公財) 枚方体育協会・木幸SP共同企業体を指定管理者として選定。	—	王仁公園 中の池公園 香里ヶ丘中央公園	通年	統計無し	通年	統計無し	次年度の指定管理者更新に向け、利用料金制を導入して自主事業による施設の利用促進を図れるよう検討した。	→	継続
スポーツ振興課	176	総合スポーツセンター管理事業 ＜再掲＞	市民がスポーツに親しむ場としての環境整備を進める。	枚方体育協会を指定管理者として選定。	—	総合スポーツセンター	通年	統計無し	通年	統計無し	施設の管理運営業務が概ね良好で、適時モニタリングを実施し、必要に応じて改善等の指示を行っていく。	→	継続
スポーツ振興課	177	渚市民体育館管理事業 ＜再掲＞	市民がスポーツに親しむ場としての環境整備を進める。	枚方体育協会を指定管理者として選定。	—	渚市民体育館	通年	統計無し	通年	統計無し	施設の管理運営業務が概ね良好で、適時モニタリングを実施し、必要に応じて改善等の指示を行っていく。	→	継続
スポーツ振興課	178	伊加賀スポーツセンター管理事業 ＜再掲＞	市民がスポーツに親しむ場としての環境整備を進める。	枚方体育協会を指定管理者として選定。	—	伊加賀スポーツセンター	通年	統計無し	通年	統計無し	施設の管理運営業務が概ね良好で、適時モニタリングを実施し、必要に応じて改善等の指示を行っていく。	→	継続
スポーツ振興課	179	サブリ村野スポーツセンター管理事業 ＜再掲＞	市民がスポーツに親しむ場としての環境整備を進める。	ひらかた支援活動NPOセンターへ委託。	—	サブリ村野スポーツセンター	通年	統計無し	通年	統計無し	引き続き適切に施設の管理運営を行っていく。	→	継続
長寿社会総務課	180	枚方市総合福祉センター維持管理事業（講座開催業務）	指定管理者が行う自主事業として企画・実施し、高齢者の健康と福祉増進を図るため。	高齢者向けの体操講座、グラウンドゴルフ個人利用の実施	市民 60歳以上	枚方市総合福祉センター	553回	11,061人	552回	11,111人	アンケート希望の多かった講座・講習を行なったことで、増加する高齢者の健康維持と生きがいを見いだすことができた。	→	継続
長寿社会総務課	181	枚方市総合福祉センター（老人作業所）維持管理事業（講座開催業務）	指定管理者が行う自主事業として企画・実施し、高齢者の健康と福祉増進を図るため。	高齢者向けの体操講座	60歳以上	老人作業所	16回	235人	16回	233人	交通機関等、地域環境の長所を活かした作業所で、希望の多かった講座・講習を行なったり、介護福祉健康講座にてノルデックボールを使った体操、体力測定も実施し、増加する高齢者の健康維持と生きがいを見いだすことができた。	→	継続
福祉総務課	182	総合福祉会館維持管理事業（水泳教室開催業務） ※本項、水泳教室の全集計	指定管理者が行う自主事業として企画・実施し、市民の健康増進及び福祉の向上に努めるため。	水泳教室の実施	市民	ラポールひらかた温水プール	169回	3,205人	271回	4,000人	継続で参加希望される方が多い	→	継続
みち・みどり室	183	都市公園有料施設管理運営事業	サービス向上への取り組み	スポーツ教室の実施	市民	王仁公園 中の池公園	46回	243人	46回	240人	屋外の事業であるため、天候に左右された。	→	継続
文化財課	184	企画展関連フィールドワーク（市立枚方宿鍵屋資料館指定管理事業）	企画展にあわせて現地見学する。	企画展にあわせて現地見学する。	市民	H29「入瑞平八郎関連史跡をめぐる」 H30「伏見・中書島の史跡をめぐる」	1回	11人	1回	20人	指定管理者実施事業。今後も継続して実施の予定。	→	継続

担当課	事業番号	施策名	目的	取組内容 （連携団体等）	対象者	開催場所	平成29年度取組実績		平成30年度取組実績				令和元年度 の取組方針
							実施回数	参加者数 （延べ数）	実施回数	参加者数 （延べ数）	評価	めざす 方向	
スポーツ振興課	185	スポーツプログラム提供事業 （総合スポーツセンター指定 管理事業）	サービス向上への取り組み	スポーツ教室の実施 （枚方体育協会）	市民	総合スポー ツセンター	305回	7,415人	313回	7,565人	陸上競技場を活用したかけっこ教室 や、保育付きの女性対象教室など、 選択肢も多くいずれも好評。	→	継続
スポーツ振興課	186	スポーツプログラム提供事業 （渚市民体育館指定管理事 業）	サービス向上への取り組み	スポーツ教室の実施 （枚方体育協会）	市民	渚市民体育 館	140回	2,086人	282回	4,054人	スカイアリーナを活用した弓道・ アーチェリー教室をはじめ、幼児対 象のトランボリン教室が特に人気。	→	継続
スポーツ振興課	187	スポーツプログラム提供事業 （伊加賀スポーツセンター指 定管理事業）	サービス向上への取り組み	スポーツ教室の実施 （枚方体育協会）	市民	伊加賀ス ポーツセン ター	280回	4,334人	297回	4,729人	乳幼児対象のおやこ体操教室や高齢 者対象のスポーツ教室が特に人気。	→	継続
スポーツ振興課	188	民間スポーツ施設開放事業	市民がスポーツに親しむ場としての環境整備 を進める。	企業又はその他の法人等の協 力のもとに、提供可能なス ポーツ施設を広く開放するこ とにより、企業等と地域社会 との新たな連携を形成すると ともに、スポーツ活動の場の 充実を図る （枚方体育協会）	市民	企業等の開 放体育施設	開放件数 9,635件	登録団体数 60団体 登録者数 959人	開放件数 5,467件	登録団体 46団体 登録者数 822人	民間企業のスポーツ施設の活用を目的 とした事業を枚方体育協会が登 録・受付を行っている。平日空いて いる企業の施設の有効活用がされて いる。	→	継続

取組課題3. 多様なニーズに対応したスポーツ環境の充実

施策の方向（6）スポーツ資源の充実と活用

具体的施策（施策の基本目標）. ③学校体育施設の開放

○学校体育施設の地域開放

平成30年度のめざす方向
を受けての令和元年度取組方針
(完了、継続、拡充・拡大に向け
た見直し、廃止)
↓

担当課	事業番号	施策名	目的	取組内容 (連携団体等)	対象者	開催場所	平成29年度取組実績		平成30年度取組実績				令和元年度 の取組方針
							実施回数	参加者数 (延べ数)	実施回数	参加者数 (延べ数)	評価	めざす 方向	
学校規模調整課	189	市立学校園施設開放事業	市民等の身近な文化・スポーツ・地域活動の場とするため。	市民等の身近な文化・スポーツ・地域活動の場として、学校園の教育活動及び施設の管理運営に支障の無い範囲において、小中学校のグラウンド・体育館・特別教室及び幼稚園の遊戯室等を利用者からの申請に基づき、使用を許可する。	市民	枚方市内全小中学校園	20,044件	統計無し	19,100件	約130,000人	市立学校園施設開放事業と市立小中学校体育施設開放事業の事業統合に向けて関係部署間と協議・検討中	→	継続
スポーツ振興課	190	市立小学校体育施設開放事業	スポーツができる身近な施設として、効果的な利用を行い、社会体育の普及・振興を図る。	学校体育施設を地域に開放する。	市民	各小学校	15,112件	411,772人	13,643件	379,577人	引き続き、学校運営に支障のない範囲で事業を継続し、地域へ学校体育施設を開放していく。	→	継続

取組課題3. 多様なニーズに対応したスポーツ環境の充実

施策の方向（6）スポーツ資源の充実と活用

具体的施策（施策の基本目標）. ④公園緑地の利活用の促進

- 市民団体や企業等との協働によるスポーツイベント等の開催
- スポーツを通じた健康づくりの発信の場として利活用しやすい環境の整備

平成30年度のめざす方向
を受けての令和元年度取組方針
(完了、継続、拡充・拡大に向け
た見直し、廃止)
↓

担当課	事業番号	施策名	目的	取組内容 (連携団体等)	対象者	開催場所	平成29年度取組実績		平成30年度取組実績				令和元年度 の取組方針
							実施回数	参加者数 (延べ数)	実施回数	参加者数 (延べ数)	評価	めざす 方向	
スポーツ振興課	191	淀川河川公園ふれあいマラソン ＜再掲＞	障がいのある方もない方も、子供からお年寄りまで幅広い世代の多様な方々が同じスポーツやレクリエーションイベントに参加、交流する機会を提供し、ノーマライゼーションの理念の普及啓発を測り、地域活力の向上に貢献することを目的とする	障がいの有無を問わず、幅広い世代の方が参加できる短い距離の「ふれあいマラソン」、フライングディスクやバドミントン大会、車いす体験コーナーなど、どなたでも楽しめるレクリエーション・プログラムや飲食ブースの出店で賑わいあるイベントとなる事を目指す (枚方体育協会)	府下全域の方	淀川河川公園 枚方地区	1回	859人	1回	1,915人	天気に恵まれ、マラソン及びレクリエーションプログラムとも増加した。	→	継続

取組課題4. スポーツ関係団体や企業と行政が協働したスポーツ推進体制の強化

施策の方向（7）各種競技スポーツのレベルアップ

具体的施策（施策の基本目標）. ①ジュニア期からの育成支援

- 競技大会開催等の支援
- 地元のアスリートによる選手の育成
- 大学や企業等との協働

平成30年度のめざす方向
を受けての令和元年度取組方針
(完了、継続、拡充・拡大に向け
た見直し、廃止)
↓

担当課	事業番号	施策名	目的	取組内容 (連携団体等)	対象者	開催場所	平成29年度取組実績		平成30年度取組実績				令和元年度 の取組方針
							実施回数	参加者数 (延べ数)	実施回数	参加者数 (延べ数)	評価	めざす 方向	
スポーツ振興課	192	総合体育大会等の運営及び選手派遣 ＜再掲＞	市民が様々なスポーツ活動に取り組むことを促すため。	大会の開催 (枚方体育協会)	市民	総合スポーツセンター 伊加賀スポーツセンター、渚市民体育館等	5回	21,545人	通年	18,252人	28競技種目の大会を実施。市民スポーツ（競技スポーツ）の推進に貢献している。	→	継続
スポーツ振興課	193	北河内地区駅伝競走大会 ＜再掲＞	市民が様々なスポーツ活動に取り組むことを促すため。	大会の開催 (枚方体育協会)	市民	淀川河川公園枚方地区	1回	84人	1回	84人	北河内地区総合体育大会の一環として開催。一般・中学男女において毎年好成績を収めている。	→	継続
スポーツ振興課	194	大阪府市町村対抗駅伝競走大会 ＜再掲＞	市民が様々なスポーツ活動に取り組むことを促すため。	大会の開催 (枚方体育協会)	市民	服部緑地公園陸上競技場	1回	52人	1回	52人	大阪府総合体育大会の一環として開催。代表選手は一般市民ランナーおよび中学陸上部の目標となっている。	→	継続
スポーツ振興課	195	枚方市長杯争奪軟式野球大会 ＜再掲＞	市民が様々なスポーツ活動に取り組むことを促すため。	大会の開催 (枚方体育協会)	市民	市内グラウンド	1回	1,848人	1回	1,883人	軟式野球の年間3大会の一つ。一般・学童と多くのチームが参加している。	→	継続
スポーツ振興課	196	三島・北河内地区対抗柔道大会 ＜再掲＞	市民が様々なスポーツ活動に取り組むことを促すため。	大会の開催 (枚方体育協会)	市民	吹田市立武道館	1回	17人	1回	20人	三島地区と北河内地区の柔道団体の対抗戦。隔年で地域を変えて実施している。	→	継続
スポーツ振興課	197	枚方市駅伝競走大会 ＜再掲＞	市民が様々なスポーツ活動に取り組むことを促すため。	大会の開催 (枚方体育協会)	市民	淀川河川公園枚方地区	1回	441人	1回	396人	一般（高校以上）・中学の部により行われる大会。北河内駅伝の代表選手選考会も兼ねている。	→	継続
スポーツ振興課	198	枚方体育協会加盟団体活動補助	公益財団法人枚方体育協会に加盟する各競技団体の活動を補助することで、市民のスポーツ活動の振興を図る。	補助金の交付	枚方体育協会加盟団体	—	1回	統計無し	1回	統計無し	引き続き、対象事業を明確にした上で公益財団法人枚方体育協会に加盟する各団体の活動に対し補助を行い、活動を活発に行えるようにする。	→	継続
スポーツ振興課	199	スポーツ少年団活動支援 ＜再掲＞	枚方市スポーツ少年団の活動を支援し、青少年の健全な育成に寄与する。	補助金の交付	—	—	1回	統計無し	1回	統計無し	各大会運営等の支援を行った。引き続き、対象事業を明確にした上でスポーツ少年団へ補助を行い、各団体の活動を活発に行えるよう支援する。	→	継続
スポーツ振興課	200	総合型地域スポーツクラブ活動支援	総合型地域スポーツクラブを支援し、全ての市民が気軽にスポーツを楽しむことができる環境を整備する。	会場の確保	—	—	1回	統計無し	1回	統計無し	引き続き、会場確保等の支援を行っていく。	→	継続
スポーツ振興課	201	パナソニック・パンサーズジュニア&親子バレーボール体験教室 ＜再掲＞	バレーボールの普及並びにトップアスリートとふれあうことにより、青少年の健全な育成、子どもたちのスポーツに対する関心を高め、夢を育む機会をつくる。	バレーボール教室の開催	市内親子	パナソニックアリーナ	1回	119人	1回	127人	平成30年度は枚方体育協会、ひらかたキングフィッシュャースポーツクラブ主催により開催。本体験教室は、バレーボールの普及・市民スポーツ振興を目的に、パナソニックパンサーズの選手、スタッフの協力のもと開催した。	→	継続

担当課	事業番号	施策名	目的	取組内容 （連携団体等）	対象者	開催場所	平成29年度取組実績		平成30年度取組実績				令和元年度 の取組方針
							実施回数	参加者数 （延べ数）	実施回数	参加者数 （延べ数）	評価	めざす 方向	
スポーツ振興課	202	FCティアモによるサッカー教室 ＜再掲＞	サッカーを通じた、市民のスポーツ振興と青少年の健全育成のため。	関西リーグの公式戦観戦やサッカー教室の開催。	幼児、小、中、高校生	陸上競技場	6回	統計無し	3回	統計無し	トップアスリートとのふれあい事業（サッカー）を地元サッカーチームのFCティアモ枚方より協力を得て実施した。なお、全6回のうち2回は雨天中止、1回は枚方PR大使・新井場さんのサッカー教室を実施。	→	継続
スポーツ振興課	203	民間スポーツ施設開放事業 ＜再掲＞	市民がスポーツに親しむ場としての環境整備を進める。	企業又はその他の法人等の協力のもとに、提供可能なスポーツ施設を広く開放することにより、企業等と地域社会との新たな連携を形成するとともに、スポーツ活動の場の充実を図る （枚方体育協会）	市民	企業等の開放体育施設	開放件数 9,635件	登録団体数 60団体 登録者数 959人	開放件数 5,467件	登録団体 46団体 登録者数 822人	民間企業のスポーツ施設の活用を目的とした事業を枚方体育協会が登録・受付を行っている。平日空いている企業の施設の有効活用がされている。	→	継続

取組課題4. スポーツ関係団体や企業と行政が協働したスポーツ推進体制の強化

施策の方向（7）各種競技スポーツのレベルアップ

具体的施策（施策の基本目標）. ②指導者の確保・育成及び活動支援

- スポーツ指導者の確保・育成
- スポーツ指導者の人権意識の向上、個々の特性に配慮した指導を行うための資質の向上
- 身近な指導者の発掘、情報提供
- スポーツ関係団体との連携の強化
- 部活動外部指導者の派遣

平成30年度のめざす方向を受けての令和元年度取組方針（完了、継続、拡充・拡大に向けた見直し、廃止）

担当課	事業番号	施策名	目的	取組内容 （連携団体等）	対象者	開催場所	平成29年度取組実績		平成30年度取組実績				令和元年度 の取組方針
							実施回数	参加者数 (延べ数)	実施回数	参加者数 (延べ数)	評価	めざす 方向	
スポーツ振興課	204	インストラクター・ボランティア基礎養成講座 フォローアップ研修 ＜再掲＞	スポーツ指導やスポーツボランティアを行う上で知っておきたい基礎知識（コーチング論・ボランティア論・スポーツ栄養など）を提供し、新しい指導者の育成と既存指導者に対するスキルアップを目指す。	講習会の実施 （枚方体育協会）	市民	渚市民体育館	3回	101人	3回	105人	指導者およびボランティアの育成と発掘を目的とした講座。スポーツサポーターズバンクへの登録者が活動することで、多くの市民がスポーツの機会に触れることができている。		拡充・拡大に向けた見直し
教育指導課	205	枚方市立中学校部活動指導協力者派遣事業 ＜再掲＞	部活動の活性化と充実を図るとともに、顧問教員の時間的余裕を生み生徒指導や授業研究の時間を確保するため、各中学校に専門的な知識や技能を有する部活動指導協力者を派遣する。	部活動の活性化と充実のため、各中学校の実態やニーズに合わせて、効果的に部活動指導協力者の活用を図る。	市内中学生	市立中学校	派遣回数 5,873回	派遣者数 104人	派遣回数 5,333回	派遣者数 103人	各中学校で部活動指導協力者を効果的に活用した。派遣回数の減少は、部活動運営方針が考慮されたものと考えられる。		継続
スポーツ振興課	206	FCティアモとの連携協定	サッカー競技を通じた市民のスポーツ振興や青少年の健全育成のため。	連携協定の締結	関係団体	—	統計無し	統計無し	統計無し	統計無し	引き続き、連携協定を行い、地元サッカーチームのFCティアモ枚方と連携してサッカー競技を通じた市民のスポーツ振興・青少年健全育成を図る。		継続

取組課題4. スポーツ関係団体や企業と行政が協働したスポーツ推進体制の強化

施策の方向（7）各種競技スポーツのレベルアップ

具体的施策（施策の基本目標）. ③スポーツボランティアの育成と活用

○スポーツボランティアの確保・育成

平成30年度のめざす方向
を受けての令和元年度取組方針
(完了、継続、拡充・拡大に向け
た見直し、廃止)
↓

担当課	事業番号	施策名	目的	取組内容 (連携団体等)	対象者	開催場所	平成29年度取組実績		平成30年度取組実績				令和元年度 の取組方針
							実施回数	参加者数 (延べ数)	実施回数	参加者数 (延べ数)	評価	めざす 方向	
スポーツ振興課	207	インストラクター・ボラン ティア基礎養成講座 フォローアップ研修 ＜再掲＞	スポーツ指導やスポーツボランティアを行う 上で知っておきたい基礎知識（コーチング 論・ボランティア論・スポーツ栄養など）を 提供し、新しい指導者の育成と既存指導者に 対するスキルアップを目指す。	講習会の実施 (枚方体育協会)	市民	渚市民体育 館	3回	101人	3回	105人	指導者およびボランティアの育成と 発掘を目的とした講座。スポーツサ ポーターズバンクへの登録者が活動 することで、多くの市民がスポーツ の機会に触れることができている。		拡充・拡大に向けた見直 し

取組課題4. スポーツ関係団体や企業と行政が協働したスポーツ推進体制の強化

施策の方向（7）各種競技スポーツのレベルアップ

具体的施策（施策の基本目標）. ④総合型スポーツクラブへの支援

- 総合型地域スポーツクラブの周知
- 総合型地域スポーツクラブの育成支援
- 総合型地域スポーツクラブの指導者等の資質の向上

平成30年度のめざす方向
を受けての令和元年度取組方針
(完了、継続、拡充・拡大に向け
た見直し、廃止)
↓

担当課	事業番号	施策名	目的	取組内容 (連携団体等)	対象者	開催場所	平成29年度取組実績		平成30年度取組実績				令和元年度 の取組方針
							実施回数	参加者数 (延べ数)	実施回数	参加者数 (延べ数)	評価	めざす 方向	
スポーツ振興課	208	広報媒体を通じた情報発信 ＜再掲＞	スポーツの普及・啓発のため。	広報ひらかた、ホームペー ジ、学校園へのチラシ配布	市民	—	統計無し	統計無し	統計無し	統計無し	引き続き、広報ひらかた、ホーム ページ、学校園へのチラシ配布等 によりスポーツの普及・啓発のための 情報発信を行う。	→	継続
スポーツ振興課	209	総合型地域スポーツクラブ活 動支援 ＜再掲＞	総合型地域スポーツクラブを支援し、全ての 市民が気軽にスポーツを楽しむこと ができる環境を整備する。	補助金の交付	—	—	1回	統計無し	1回	統計無し	引き続き、会場確保等の支援を行っ ていく。	→	継続
スポーツ振興課	210	インストラクター・ボラン ティア基礎養成講座 フォローアップ研修 ＜再掲＞	スポーツ指導やスポーツボランティアを行う 上で知っておきたい基礎知識（コーチング 論・ボランティア論・スポーツ栄養など）を 提供し、新しい指導者の育成と既存指導者 に対するスキルアップを目指す。	講習会の実施 (枚方体育協会)	市民	渚市民体育 館	3回	101人	3回	105人	指導者およびボランティアの育成と 発掘を目的とした講座。スポーツサ ポーターズバンクへの登録者が活動 することで、多くの市民がスポーツ の機会に触れることができている。	↗	拡充・拡大に向けた見直 し

取組課題4. スポーツ関係団体や企業と行政が協働したスポーツ推進体制の強化

施策の方向（8）プロスポーツとの交流促進

具体的施策（施策の基本目標）. トップレベルの選手のプレーを間近に見たり、選手と交流を促進したりする機会の提供

- 市広報誌・ホームページ等を活用したチーム関連情報の定期的な発信
- トップアスリートとの交流の機会づくり

平成30年度のめざす方向
を受けての令和元年度取組方針
(完了、継続、拡充・拡大に向けた見直し、廃止)
↓

担当課	事業番号	施策名	目的	取組内容 (連携団体等)	対象者	開催場所	平成29年度取組実績		平成30年度取組実績				令和元年度 の取組方針
							実施回数	参加者数 (延べ数)	実施回数	参加者数 (延べ数)	評価	めざす 方向	
スポーツ振興課	211	広報媒体を通じた情報発信 ＜再掲＞	スポーツの普及・啓発のため。	広報ひらかた、ホームペー ジ、学校園へのチラシ配布	市民	—	統計無し	統計無し	統計無し	統計無し	引き続き、広報ひらかた、ホーム ページ、学校園へのチラシ配布等 によりスポーツの普及・啓発のための 情報発信を行う。	→	継続
スポーツ振興課	212	ひらかたラグビーカーニバル ＜再掲＞	市民スポーツの振興を図り、健康維持・体力 増進を図るため。	スポーツ教室、交流試合等 (枚方体育協会)	市民	陸上競技場	1回	537人	1回	534人	トップリーガー等による講習会をは じめ、中学対抗戦、高校招待試合、7 人制大会など「ラグビーのまち・ひ らかた」を象徴するイベントとして 好評。	→	継続
スポーツ振興課	213	トップアスリートとのふれあ い事業 ＜再掲＞	トップアスリートとふれあうことにより、青 少年の健全な育成、子どもたちのスポーツに 対する関心を高め、夢を育む機会をつくる。	スポーツ教室、講演会等 (枚方体育協会)	市民	総合スポー ツセンター 等	2回	1,073人	2回	483名	①レスリング 「吉田沙保里さんトークショー」 ②ノーマライゼーション陸上競技 チャレンジ 講師：朝原宣治氏・荒川大輔氏・大 岩雄飛氏・佐藤圭太氏・多川知希 氏・池田樹生氏・階戸健太氏	→	継続
スポーツ振興課	214	パナソニック・パンサーズ ジュニア&親子バレーボール 体験教室 ＜再掲＞	バレーボールの普及並びにトップアスリート とふれあうことにより、青少年の健全な育 成、子どもたちのスポーツに対する関心を高 め、夢を育む機会をつくる。	バレーボール教室の開催	市内親子	パナソニッ クアリーナ	1回	119人	1回	127人	平成30年度は枚方体育協会、ひらか たキングフィッシャースポーツクラ ブ主催により開催。本体験教室は、 バレーボールの普及・市民スポーツ 振興を目的に、パナソニックパン サーズの選手、スタッフの協力のも と開催した。	→	継続
スポーツ振興課	215	FCティアモによるサッカー教 室 ＜再掲＞	サッカーを通じた、市民のスポーツ振興と青 少年の健全育成のため。	関西リーグの公式戦観戦や サッカー教室の開催。	幼児、小、 中、高校生	陸上競技場	6回	統計無し	3回	統計無し	トップアスリートとのふれあい事業 (サッカー)を地元サッカーチーム のFCティアモ枚方より協力を得て実 施した。なお、全6回のうち2回は雨 天中止、1回は枚方PR大使・新井場 さんのサッカー教室を実施。	→	継続
スポーツ振興課	216	プロスポーツ交流促進	トップレベルのプレー観戦機会を提供し、子 どもたちがスポーツを始めるきっかけづく り、また夢や高い目標を持って練習に励む良 い機会とする。	観戦機会の提供	市民	総合スポー ツセンター 他	9回	統計無し	7回	統計無し	引き続き、観戦機会の提供を行って いく。	→	継続
スポーツ振興課	217	枚方市及び友好都市の高校の 応援事業	全国大会に出場する高校を応援し、大会に関 する情報を発信するとともに応援すること で、市民がスポーツへの関心を高める。	全国大会出場高校の応援・情 報発信	市民	—	1回	統計無し	0回	統計無し	引き続き、情報発信等を行ってい く。	→	継続
スポーツ振興課	218	枚方市民・枚方市出身選手の オリンピック応援事業	オリンピックに出場する枚方市ゆかりの選手 を応援し、大会に関する情報を発信するとと もに応援することで、市民のスポーツへの関 心を高める。	オリンピック出場選手の応 援・情報発信	市民	—	—	—	—	—	引き続き、情報発信等を行ってい く。	→	継続
スポーツ振興課	219	地元チームの記念事業	枚方市の高校・社会人チームが全国大会等で 優秀な成績を収めた場合に、市民とともにお 祝いする事業を実施し、市民のスポーツへの 関心を高める。	記念事業の実施	市民	岡東中央公 園	1回	約1,000人	1回	約1,000人	引き続き、記念事業等を実施してい く。	→	継続